京城日報
二十一日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）
年中無休刊　大正七年六月二十二日　THE KEIJO NIPPO　第三千八百六十一號　（一）

# ○セ軍を援助せよ 累卵の如き滿洲里
## 滿洲里居留民會我外相に懇願す

滿洲里居留民會は日本外務大臣に宛て左の電報の傳送方を哈爾賓居留民會に依頼し來れり（哈爾賓特電）

過激派軍は協商國共同の敵たる獨墺軍人を主力とせり此過激派軍と奮鬪苦戰せるセミヨノフに對しては支那は軍需品供給を妨害し戰鬪を不可能ならしめ而も過激派軍には軍需品を輸送しつゝあり當地軍事支那軍隊の行動は過激派を益するのみなり無援のセミヨノフ軍の旗色振はざるに乘じ支那は何者かを頼む處あるが如くセ軍退却する場合に於ては戰線に接續せる國境に於てセ軍の武装解除を行ふ可しとの强硬なる要求を爲せるが敵前の武装解除は全軍を捕虜として之れを全滅せしむるものなればセミヨノフは支那側の要求に應ぜざるべく支那は此場合セミヨノフに對し開戰せんと其準備を整へつゝあり結局武装解除に關聯して誤解を生ず可し其誤解は延て支那軍隊セ軍の開戰となり滿洲里は戰場と化す可し若しセミヨノフ軍過激派軍と共同し滿洲里を全然無政府狀態に陷らしむるに於ては在留二百五十名の生命財產の安全を期する能はざるに至るやも知る可らず滿洲里は今や明日をも測り難き危險に瀕せり前記の事情に鑑み大至急適當の御處置願上たく在留民總會の決議に依り情況報告旁〻及歎願候也

# ○中央執行委員會決議

露國よりの無線電信に據れば全露中央執行委員會は六月十四日の決議に於て宣言して曰く各戰線は國際帝國主義に依り攻擊せられ居れり故に革命社會黨と中央黨及びメンシエウイキ派の代表者を同委員會より除名する事と爲せり尙同決議は彼等が同地方に於てカレジン及びコルニロフ、烏剌爾地方にてヅトフ西伯利に於てセミヨノフ、ホルワット、及びコッチヤク亦最近チエック、スラバック及びブラックバンド等と聯契し反過激派軍を組織せる故地方勞農會よりも彼等を除名せん事を勸告せり（倫敦電報）

# ○レニン不日伯林へ

レニンは獨逸政府當路者並に民間有力者等と會見せんが爲め近く伯林に向け出發す可し（倫敦電報）

# ○墺匈國平和の叫び
## 戰爭終結の會合隨所に催さる

墺匈國內における平和要求の聲は漸次激烈となり戰爭を終結せしむる爲めの諸會合國內到る處に催されアムステルダム市場に於る墺國諸株式は空前の暴落を見るに至れり（倫敦電報）

# ○地中海警備と日伊艦隊

英國チルビッツ提督の所言に據れば地中海の警備は主として日本及伊太利艦隊の勇敢なる行動に委任られ英國艦隊は北海に主力を盡くしつゝあり（倫敦電報）

# ○獨軍巴里進擊阻止

獨軍の巴里進擊は今や完全に阻止せられたりと見做され居れり（倫敦電報）

# ○南洋に獨艦現はる

南洋方面に又復獨逸巡洋艦現はれ某所に於て石炭を補給せる形跡ありとの情報某所に達せりと傳へらる（東京電話）

# ○幣制借款前渡決定

幣制借款千萬元の前渡は支那政府の要求に依り四國銀行團より倫敦の本部に照會中の處今回本部の承認を經たるを以て七月一日迄に我正金銀行より引渡す可しと（東京特電）

# ○吉會借款前渡使途

吉會鐵道前渡金一千萬圓は該鐵道敷設に要する土地の買收其他の費用に充てらる可しと（東京特電）

# ○滿鐵株主總會
## 未曾有の好成績

滿鐵にては二十二日株主總會を開き營業決算報告、監事改選、社債募集案等を附議する筈なるが今期の營業は未曾有の好成績を示し巨額の純益を收めたるも此の際會社の基礎を鞏固ならしむると今後事業の擴張すべきものあるとに鑑み株主への配當は前期通りとし其大部分は諸積立及び後期繰越に充當する筈なり監事の改選は總て重任に內定し又社債六千萬圓を募集し了るの議案を提出する筈にて孰れも原案可決すべき趨勢也（特電）

# ●徹底的か不關焉か
## 支那紛亂に對する帝國の態度
### 支那の人物…山東鐵道延長…滿鐵の活動…
### 濱田衆議院副議長車中談

支那本土並に南北滿洲の視察を終へて二十日夜入京せし濱田衆議院副議長の支那談の一節に曰く北京に於ては

◆南方頑冥 と云ふ話しを盛んに聞かされたが南に行くと頻りに日本の對支態度にあきたらないと怨れた、南方の人は日本が北方の段政府に金を貸さず又兵器の供給をやらなければ南北抗爭少くも北方がかく暴勢に南方を壓する事はないんだと言つてゐた、南北の言ひ分斯の如しとすれば此に處する帝國の態度は餘程愼重でなければならぬ、目下支那政府の財政狀態に付予の概略調査を擧げんに目下北京政府の政費は一箇月約三百萬圓內外、而して討南費は約一千萬圓と稱し乃ち合計一千三百萬圓位の金が要る譯である、右に對し

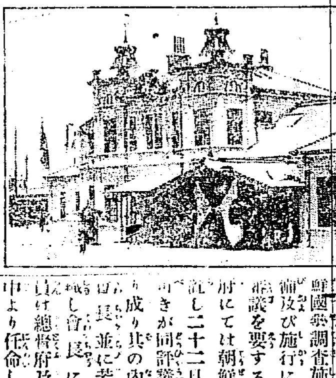
◆支那政府 の收入は幾何なりやと云ふに煙酒稅と海關稅とが合計六百萬圓內外であつてどうしても六七百萬圓の不足は之れを外國に仰がねばならぬ狀態にあるその六七百萬圓の不足の內二百五十萬圓位宛の不足は正金銀行が融通してゐるから融通もついてゐるが、後の四五百萬圓が乃ち八釜しい色々の借款を日本の財閥との間に成立さして資金の融通を受け費つてゐるのである、予輩は此南北抗爭を目して

◆隣邦の爲めに甚だ遺憾に思ふのである、借て然らば如何なる方策により帝國は支那に對すべきかの問題になると出づべき途は二つあるやうだ、乃ち（一）日本に餘力のある資金を二億でも三億でも貸しつけて有力な政府を組織せしめそれに全土の統一をやらす乃ち徹底的な行き方（二）現狀の儘全く不關焉の傍觀をなし彼等の自然的妥協を待つかである、例へて云へば要る丈の金を貸すと云ふ様なつまり貧乏人に其日の米代を融通する式の行き方では支那時局の拾收は百年河淸を待つに均しいのではあるまいかと思ふ、北京で馮總統に會つた時馮は頻りに

◆國政統一 の困難南北分立の止むべからざる事情を述べてゐた、段祺瑞は默々として多く語らなかつた、然し段は馮より一枚上の役者だと思はれる、彼れは意志の强い一度決したら容易に動かぬ氣質を有つた男らしい、支那第一流の人物たる事は勿論である、各省の督軍にも大分會つたが南京督軍の李純は識見手腕共に傑出してゐるらしい、年も四十二三と聞いたが、尙ほ大に前途のある男であらうと思ふ、支那の鐵道では山東鐵道を濟南から黃河沿岸に延長して京漢線に到達せしむる事が必要であると思ふ、隴海線は八釜しく云はれてゐるが北京に近いから有利でない、上海に於ける

◆邦人發展 は意外に盛んであつた、又長江沿岸も日本商權の扶植は餘程深く行つてゐるやうで愉快に見て來た、滿洲に於ける滿鐵の活動は實に予等の目を驚かした、彼の如き龐大の組織にして彼の如き資力を擁し彼の如く人材を有せぬと到底あれだけの仕事は可能ないであらう、滿鐵は[illegible]人に會つて話しても仲々意見もあり確乎してゐる、正に傾事などよりも二枚上だと思はれる。

◆滿洲三頭政治 問題も一聞かぬではない然し今日俄かに統一すると云ふことは、困難の事情もあらう、乃で漸進的に統ぶると云ふ意味合から滿鐵に最も多く仕事をさす事が此際の適當な遣り口であるまいか、西伯利の風雲も最近稍動いてゐるらしい、然し眞相は旅行中でよく分らない、若し出兵する事となつても帝國は日支軍事協約によつて行動すべく米國との協同動作をとる如きは俄に予輩の首肯し難い點である



○大田の新驛（二十日より開通）

# ◎吉會線豫備借款內容
## 本契約調印の上は速に建設す
### 吉田鮮銀營業局長談

吉會線鐵道借款豫備契約の調印に付朝鮮銀行吉田營業局長は曰く本借款は京城日報の電報の如く十八日北京にて興業銀行代表者と支那政府との間に調印成立したり金額は

△一千萬圓 債權者は興業、朝銀、臺銀の三シンヂケート銀行並に鮮銀、債務者は支那政府にして貸出方法は支那政府發行國庫債券を割引する事及擔保は吉會鐵道に關する附屬の財產並びに收入金全部を充當し利率は年七分五厘期限は吉會線借款の本契約締結まで決定し居れるが一方本契約は豫備契約の成立後速に締結に著手する事となり本契約の成立を見ば何等かの形式により速に建設工事に著手する事と取極めあるは重要にして頗る注目すべき點なるべし又本契約による借入金は支那政府にて五分利附四鄭鐵道の

△公債に準じ 日本に於て發行する事となり居れり尙ほ吉會鐵道は二百七十七哩にして山岳多く河川も少なからざる模樣に付多分一哩十五萬圓乃至二十萬圓位の建設費を要すべく建設費總額四五千萬圓を支出せざるべからざるべしと思惟せらるゝに付前渡金一千萬圓にては多大の不足あれど殘餘の金額が如何にして調達され又如何なる形式により工事を起すべきかの問題は未だ公定されざるものゝ如く予等は何等關知せず

# ◎國勢調查評議會訓令發布

大正九年十月一日を以て第一回朝鮮國勢調查施行さるべく之れが準備及び施行には最も愼重なる調査審議を要するものなるを以て總督府にては朝鮮國勢調查評議會を設くべきが同評議會規程は全文六條より成り二十二日訓令を以て發布さる其の內容の主なる點は同會は會長並に若干の評議員を以て組織し會長には山縣政務總監評議員は總督府及び所屬官署高等官の中より任命し他に必要ありと認むる場合は前項各官廳以外の關係各廳高等官及び學識經驗ある者の中よりも囑託することゝし別に幹事並に書記各一名を置き幹事には當該課長を以て之れに充て書記は判任官の中より任命する筈なり

# ◎定例長官會議

二十一日午前十時より總督府第一會議室にて定例長官會議を開き各部局長官各所屬官署長參集諸般政務に就き夫々審議する處あり正午散會せり

# ◎本年果實豐作
## 內地需要ॢ生產不過剩
### 某專門家談

朝鮮に於ける果樹栽培は地味好適せるを以て年々隆盛に赴きつゝあるは朝鮮產業界の爲め

▲甚だ喜ぶ 可き事なり然るに先頃二三新聞紙上に於て本年は果物の生產過剩を來すべしとの如く傳へられたるも思ふに這は本年果物の豐產なるが故に直ちに此の結論を爲したるものに非ざるか、本年の果物は確かに豐作の見込みにて此の點は斯業に從事する者の異論なき所なるも之れが爲め生產過剩に陷るが如き事は萬々之れなしと信ず由來朝鮮の果物は未だ生產數量多からざるが故に思ふがまゝに荷物捌ふる事困難なり先年來新に販路を拓に努めつゝあり滿洲露領西細亞等に於ける新販路の途の成績の擧らざるは朝鮮の生產未だ需要に對して多からざるを證するものなり殊に昨年來內地市場に於ける

▲需要激增し 價格亦意外に昂騰せるを以て輸移出品の多くは內地に仕向けられ折角開拓に努めつゝある滿洲露領方面への仕向は其の要求に副ふ能はざりしが爲め同方面當業者の不平を聞くに至れり今年も內地需要は依然たる向きにして既に阪神關門地方より先約束にて註文入り來るもの少なからざるが栽培者は先高の見込にて之に應ずるもの無きが如し現況なるを以て本年の果實が如何に豐作なるも生產過剩に陷るが如き事は想像する能はざるべし

# ◎大田驛落成祝賀會

大田官民主催に係る停車場新築落成祝賀會は二十日午後八時より驛待合所に於て擧行せるが出席者約百五十名非常の盛會を極め同八時三十分閉會せり尙市中に於ては煙火花自動車及び變裝行列等の催しあり未曾有の盛況を呈したり

# ◎議員團招宴

既報の如く朝鮮東亞京電三井四社の合同主催に係る衆議院議員招待宴は二十日夜明月館に於て催されたるが定刻なる頃馬詰東亞支店長主人側を代表して歡迎の辭を述べ且一行の爲めに乾杯し濱田團長來賓を代表して謝辭を述べ各券番の妓生杯盤の間を斡旋し餘興として鼓舞、僧舞等の舞曲數番あり撤宴後更に竹酒、惠春兩女史及び濟州の[illegible]田副議長其他主客の諧謔百出等あり午後十一時過歡を盡し散會せり

# ▲議員團下仁

衆議員視察團は二十一日午前十時八分仁川驛着直ちに仁川築港を視察し同十一時半汽艇に搭乘し小月尾島外に到りて日露戰役を偲び港灣の視察を終へて正午府廳樓上に於て晝餐を認め後濱田團長は一部の希望により市民有志に對し仁川俱樂部にて一場の講演を爲し午後五時二十分仁川發列車にて京城に引返せり（川）

# ◎西村眞太郎氏

朝鮮語の著述に名を知られたる裁判所の西村眞太郎氏は今回咸北穩城に轉勤を命ぜられ二十四日出發赴任す可しと

□重要電報 欄外にあり

# 人事消息

▲野口耕一氏（元山土木出張所技師）二十日附 六日間の豫定にて咸興、定平、永興、高原、文川、德源各郡管內へ出張を命ぜらる
▲大久保直熊氏（遞信課技師）二十日附十四日間の豫定を以て忠淸南道慶尙南北道管內へ出張を命ぜらる
▲湊觀太郎氏（遞信課技手）出張を命ぜらる
▲伊藤賢三氏（遞信課[illegible]出張所技師）二十日附七日間の豫定にて[illegible]郡、瑞興郡鳳山郡黃州郡管內へ出張を命ぜらる
▲富田儀作氏（鎭南浦商議會頭）▲馬場遼平郎氏（同書記長）此の程入京中なるが二十二日退京の筈
▲美島八郎氏（元山實業家）▲杉原新吉氏（大邱實業家）目下滯在中の處二十日夜退京
▲北野三郎氏（天寶山鑛山技師）廿一日朝元山へ

# 茶前酒後

○徐樹錚陸建章を誘殺す徐は段派の[illegible]
○の壯士[illegible]は江蘇督軍李純の幕僚也
○北京政府が遂に死刑を宣告せしは其暗殺は遂に公認のみ
○政權私爭の爲に陰險なる手段を弄するは支那政治家中に不爲珍
○時が時也此の暗殺が動機となり更に恐怖時代に入らざれば大幸也
○背世野夫遂に進退谷まりて龍頭蛇尾の觀あるも回天事業を恐れ
○而も彼等力屈すれば過激派に降伏し獨勢力を容れ秩序回復を計ると
○己を利する强者の實力を利用せんとするは過激派も同一轍
○無資本の商賈に大備のある筈無背の武器も作り造作無かりし也
○進攻獨逸勢力の東漸は著なとして出現し來れり最早他事にあらず
○信州佐久の山中に一本の帶にて縊死せし男女あり心中の新記錄

千家元麿氏著
# 自分は見た
四六版美本 定價壹圓廿錢 送料六錢

自分は日本に眞の詩人があるかと聞かれた時に、「ゐる」と答へる光榮を有してゐる。そして自分は今の日本の詩人で誰を一番尊敬してゐるかと云はれても、自分は即座に答へることが出來る。そして今の日本で最もよき詩集はなんだと聞かれても、自分はたちどころに答へることが出來る。その詩人は千家であつて、その詩集はこの本である。之程明らかな事實はない。よし議論で千家の詩をつまらないと云ひ切れる人があつても、千家の詩は生きて讀者の心にひゞき、そして深き愛をよびさます。自分は眞價の前には頭をさげるが、議論の前には頭はさげない。千家の詩は今の日本で最も人間の心にひゞく詩だ。
——武者小路實篤——

本間久氏譯
# お伽科學 [illegible]
寫眞入頗美本 定價六拾五錢 送料六錢

實に面白いお伽噺だ。讀み始めると、もう中止する事が出來ない程面白いお伽噺だ。それでゐて讀んでゐるうちにしらず〱科學を教へてゆくお伽噺だ。だん〱文明が科學的に進むに從つて、子供のうちからさういふ知識を養ふことが必要である。日本には未だ斯んなに面白くつて爲めになるお伽噺はないと信ずる。我社は長い間の經驗から、絕えず子供の讀物について考へてゐた。元來我國の人達は比較的に子供の讀物に對して閑却し過ぎてゐる傾向がある。子供は全く讀物によつて一番感化されるものであるから、最も注意を要すべきである。我社は、子供の讀物の一若手として先づ此のお伽噺を發行したのである。

薄田泣菫氏著 再版
# 後の茶話
中版美本 定價壹圓 送料六錢

大阪每日へ連載して讀者を驚かせたものだ。短い氣の利いた逸話が、平淡洒脫の筆で、いかにも巧みに描かれてゐる。關西の社交界では頻りに此の話しかたが流行してゐる。その深辣なる諷刺は、現代の惡趣味に對して、正に一服の淸涼劑である。

長田幹彥氏著
# ゆく春
中版美本 定價九拾五錢 送料六錢
六版 發賣

大好評のうちに忽ち五版も賣切れて、その後の御註文に繁殺される位です。さすがに著者が心血を注いだ傑作だけに、結構の奇拔と變化に富んだ內容は、深刻な運命を物語つてゐます。而も深水蕉伯の挿畫が繪卷物のやうに此の一卷を飾つてゐます。

# 東都の名妓
並製壹圓廿錢 特製二圓 送料十六錢

# 生花大鑑
大判頗美本 特價壹圓五拾錢 送料十六錢

發行所 東京市芝公園 振替東京一四一七七 多文社

十一月一日發行

◇コンノート殿下御上陸の日

(左端)コンノート殿下(右上)花束を捧げし有吉神奈川縣知事令孃ふみ子(右下)御閲兵の在横濱英國少年義勇軍

# 故嚴妃一門本家爭ひ

## 最近の公判では原告の勝訴に歸す

本年二月十四日京城地方法院に訴訟を提起し爾來數回の公判を重ねたる李王世子殿下の御生母故嚴妃の本家一門間に於ける訴訟事件に就ては屢報する所ありしが原告は西小門町居住嚴俊源氏の男にて當時東京の士官學校に在學し▲王世子殿下の御學友なる嚴柱明氏にして大久保推鎭の兩辯護士を訴訟代理人とし貫鐵洞居住元軍部協辦なりし嚴柱益氏を相手取り家督相續權確認並に民籍抹消手續き履行の請求をなしたるものなり被告嚴柱益氏は張燾辯護士を代理人として之れに應訴し係爭中なりしが三月二十日▲公判の結果 同法院民事第一部野村裁判長は「被告は原告が亡戸主嚴鳳源の家に入籍したることを確認し且つ同家の民籍中被告が戸主嚴鳳源の死亡に因り戸主となりたる旨の登錄を抹消する申告手續を爲すべし」との判決を下し原告側の勝訴に歸したり元來▲原告側主張 の要旨は嚴妃の生父なる嚴鎭三には鳳源、鶴源の二男ありしが兩人共嗣子なくして死亡し他には長女なる嚴妃と偕二女子あるのみなるより鎭三の夫人朴氏は夫及び長男の後嗣者として明治二十三年八月鎭三の甥なる俊源氏を次養子となすに至り俊源氏は戸主となりて一切の家事を處理し養母朴氏死亡の際は▲喪主となり 明治二十九年には原告嚴柱明氏産れたるを以て朝鮮古來の習慣に因り嚴俊源氏は柱明氏を養兄鳳源の養子に立て自身は再度生家と歸るか然らざれば次子として其の家に居ることゝ爲し然し柱明氏が未だ幼少なるを以て之に代りて一家を司り來りしが、被告柱益氏は俊源氏の養兄鳳源の再從姪なるにも拘らず明治三十四五年頃▲宮中出入の 際嚴妃親家の庭の如くなり鳳源の養子として民籍に登錄し朝鮮の舊習慣に依る鳳源の養子たるべき柱明氏が成人しながら前記訴訟の主旨を肯せざるより遂に提訴したるものなりと云ふに在りしが審理の結果原告の請求は理由あるものと認められ結局上記の如き判決を見たる次第なりと

# ◎京都瀆職擴大

## 奥田久兵衛收監

京都府瀆職事件益々擴大し愛宕郡の奥田久兵衛氏は二十日京都檢事局に召喚されたり同氏は酒造業者にて直接國税七百餘圓を納めつゝある一流の富豪なり(大阪特電)

▲五十五名收監 京都府愛宕郡富豪奥田久兵衛氏は府會瀆職事件にて二十日收監さるこれにて收監者五十五名となれり(京都特電)

# ◇朝鮮へ六年振りの鳳

## 持病の糖尿病で血色は惡いが默々として稽古を勵む熱心さ

今年の夏場所の初日から、人氣力士の鳳御柳に、敵へなく敗れて、出世星を與へたまゝ休んでしまつた鳳については、その當時好角家の間に◆兎角の噂 をする者があつたが、この力士ほど近年場所運の惡い者は尠ないだらう、病氣は何處までも病氣で、負けると休むといふ鳳に對する批評の如きは全く當らぬのみならず、讒誣中傷の甚だしいものと言はねばならぬ彼れは本場所中に休場すると伊東に轉地して、病痾を養ひ今度の巡業にもやつとのことで出て來たのだそうだ、然ういへば、血色も◆大分惡い し、何んとなく元氣が無いやうに見ねた、しかも恐ろしく眞面目な彼れは、早朝から出場して、默々として自から稽古を勵み、默々として人に稽古をつけてゐる、まだ卅そこ／＼の若い彼には、内から溢れ出る强烈な精力と、天稟といつていゝ程の◆相撲の巧 みさとがありながら十分の活動が能きないのはいかに病氣とはいへ、定めし遺憾なことであらうと、漫ろに同情せざるを得ないものがある、行司の勘太夫君の說によると、稽古場での强さといつたら、素敵なもので何うしてあれで大錦や九州山に敗けるのかと不思議に思はれるが、負け越し勝なのは詰り場所運が惡いとでもいふのだらうか、何んにしても近ごろ氣の毒な力士であるが、まだこれから充分に◆働らける のであるから世間の評判なぞを氣にかけずに、ドシ／＼奮闘すべしである、鳳は曰く『私の今度の病氣について北里先生の所の古賀博士に、診て戴いたら腎臟病と糖尿病だそうです東京を立つ時に藥を百日分貰つて來ましたが、食物について種々制限されてゐるので閉口してゐます、稽古をすることも、相撲を取ることも、自分で堪へ得られる程度ならば、やつても差閊へないと言はれて居るので◆毎日稽古 はしてゐますが、一週間に一度宛尿だけは檢査して貰ふことになつてゐます、糖尿病といふ病氣は元來、贅澤病だそうでして、先達ても或る最負の方のところで『旨いものばかり喰つて贅澤をしてるからそんな病氣に罹るんだ』といつて笑はれましたが、そんなに別に贅澤をした覺えはないのに不思議なことだと思つてゐます、京城には◆六年振 りで參りますが久し振りで種々知つた方に會へることゝ樂しみにしてゐます』と言つた、鳳のする事、言ふ事はすべて常識的で温厚玉の如く力士としては尊敬すべき人格の所有者として實に立派な横綱であらうと思ふ

コトリ寺の稽古を監督する鳳(右)と千葉ケ崎―京城にて撮影

# ◎古井戸から 裸體の屍體

## 多分狂氣鮮人か

二十日午後六時頃京城若草町五十三番地裁判所書記官原悦次氏方の西側板圍ひの外にある古井戸の中に眞裸體の人の屍體が浮び居るを近所の子供が發見して大騷ぎとなり急報に接し本町署より係官出張し早速屍體を引揚げ檢視したるに全身爛れて毛髮悉く脱け落ち皮膚は水の爲め剥離し死後一箇月以上を經過したるものらしく年頃四十歳位の男子にて腹部よりは内臟の一部露出し肩胛骨の下より腰尖も見ゆる迄腐爛し居れり該井戸は永く廢れ居れる古井戸にて直徑四尺井戸の深さは水面迄十尺位水深も十尺ばかりあり引揚げたる屍體が餘りに慘状を呈し居るより或は他殺の疑ひなきやと係官は約三時間を費して詳細取調ぶる所ありしが死因確かならず且つ何者とも判明せず内臟の破損したるは多分引揚げの際に損したるものらしく從つて他殺とは認められざるより引續き取調ぶる所ありしが死者は多分今春吉野町邊を徘徊しゐたる狂者鮮人ならんといふ者あり死體は行旅死亡者として京城府へ引渡せり

# ◎貨物車 谿底に墜落

## 廿一日朝京元線の椿事 機關手死亡し火夫重傷を負ふ

二十一日午前六時四十分京元線福溪驛發元山行き貨物列車百三十號が六輛を連結し同八時三十分三防驛に進入せんとする際多分ブレーキの利かざりしためか突如避難線に急進し同線最終の車止めを突き破り機關車一輛無蓋貨車一輛並に米麥等の貨物を積載せる有蓋貨車三輛は山間の溪谷に墜落して粉碎し乘組機關手西崎三作並に火夫の某は重傷を負ひたる騷ぎに三防驛員は直ちに之を知つて驅けつけしも醫師なきため相當手當をなし得ず機關手は遂に出血多量のため九時死亡せり火夫は重傷なれども或は生命を取り止むべし尚ほ乘客は無事なりき

▼乘客が無かつたのは不幸中の幸 安東運輸課長談 滿鐵京城管理局としては近來稀れなる大事件であるが、幸に機關車が不足の際困つた事件が發生したと當惑してゐる唯貨物列車で乘客を載せてゐなかつたからその方の殺害がなくて幸ひであつた、救援列車は直ちに福溪から機關庫助手及び職工多數をのせて急行してゐる早速取片付にかゝる譯だが一日ではすむまい、本局からも課員を派出した、又損害は一寸明言し難いが五六萬圓を下るまい

# 鳳一行勝負懸賞豫想

## ◇京城興行五日間のお慰み◇

東京大相撲鳳一行京城興行五日間に於いて本社は左記好取組五番を選び豫告通り勝負豫想を募集することゝせり

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 鳳 | 大潮 | 錦島 | 琴ケ浦 | 白岩 |
| 千葉崎 | 藤ノ川 | 大戸平 | 三杉磯 | 大岬 |

右五組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分には×、預りは△を附す事▲最も多く的中したる者より順次賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右五組の中顏合せなき時は其れを除去して計算す▲〆切は京城興行の最終日の日限迄到着のものに限る▲はがきの表面には必らず京城太平通京城日報社相撲懸賞係と明記する事

▲一等一人サツポロビール大瓶四打入一箱 ▲二等三人同上半箱宛 ▲三等五人同上一打宛 ▲四等十人上等卷煙草一箱宛 ▲五等二十人福袋(日用品化粧品入)一個宛

# ◎學校に放火

## 嫌疑者拘引

滋賀師範及膳所中學に放火したる者あり嫌疑者續々拘引さる(大阪特電)

# ◎校長夫婦

## 劇藥自殺を企つ 兩名共危篤

廣島縣深安郡廣瀬村谷敷常小學校長富士一七雄氏夫妻は二十日午後劇藥自殺を企て危篤に陷れり原因は尚判明せず(廣島特電)

# ◎大學生殺

## 生田お梅死ぬ

秘密を冷たい胸に抱いて 馴染客の凶刃を浴びた彼女の運命

大學生殺しの生田うめが昨年の六月八日釜山綠町遊廓の七福樓で馴染客から短刀を胸元に刺された當時の事は本紙に連載する處があつたが飽くまで數奇を極めた彼女の運命も遂ひに怨みの刃傷を受けてから恰度一年目の去る十九日午後三時を以て最後の幕を閉ぢて了つたが死んだ原因は心臟麻痺である彼女は以前小說家小杉天外氏から小說の材料にしたいから半生の告白をなして異れと云ふ意味の手紙を受取つたが大學生殺しの眞相は十年の後でなければ語らないとて堅く口を緘んで居た、その劇的の裏話も最後の彼女から聞く事も出來ず遂に秘密は冷たい胸に秘められた儘永久に埋めらるゝ事となつた

# ◎京都に感冒流行

京都市部にも感冒襲ひ患者八百名に及べり(京都電話)

# ◎夜店獎勵會

新龍山三角遊園夜店獎勵會開催に就き準備中の處此程漸く整ひたるを以て二十二日午後九時同園に於て發會式を擧行す可く同會長石原磯次郎氏の名を以て各方面に案內狀を發せり

# 灯

▲京城も二三日來めつきり暑くなつたので倭城臺あたりは夕涼みの人で晩くまで賑ひ▲漢陽公園も夕景には納涼の人の姿を三々伍々見受けるが此から市内外の景勝地は納涼者が訪れて夏の夜の暑苦しさを凌いで居る、▲納涼場としては淸涼里奬忠壇南山昌慶苑等は誰も知つてるがまだ餘り知られてない處では西大門外の懿寧園なども少々遠いが非常に能く普通人は入れないが甚麗宮の奥などは悽愴の感がする程樹木が繁り漢江々岸なども善い處が多い▲金剛山探勝に出かけた生田大瓣氏は三百枚からのスケッチをしたが石井柏亭氏は同じ日數かゝつて新日本畫と鉛筆畫合して十二枚のスケッチをしたゞけ許り▲兩者の自然に對する態度や感興や觀方が如何に違つてゐるか窺はれやう

○獨間諜米國に入込

……し過激派軍は退却せり(東京電話)

○秩國公使着釜

天氣 晴一時曇

# 商況

東京期米特電

二十一日前場 [illegible] 二十六圓六十錢

兵庫期米

二十一日前場 [illegible] 二十六圓七十二錢 七十三錢

大阪株式特電

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 前 | 後 | [illegible] |
| 大阪株式 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 東京株式 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 日本郵船 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 大阪商船 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 東洋汽船 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| 鐘紡 | [illegible] | [illegible] | [illegible] |
| [illegible] | [illegible] | [illegible] | [illegible] |

大阪三品特電

二十一日前場 [illegible]

大阪期米特電

二十一日 [illegible]

下關期米特電

二十一日前場 [illegible]

雜報

◎綿絲布不勢 [illegible] 現物 [illegible]

三銘十一圓二十錢

◎正米更に小締 [illegible]

方の暴騰に約八九十錢 [illegible]

當附近も又雨催 [illegible]

空合 [illegible]

◎關東麥の其後 [illegible] 古大麥 [illegible] 麥安 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川正米 [illegible]

釜山穀物(二十日) [illegible]

◎砂糖弱持合 [illegible]

兎角軟味の傾 [illegible]

夏季需要の如何 [illegible]

◎白米卸値上げ [illegible] 上 更に三十錢 [illegible]

◎蒟蒻粉奔騰 [illegible]

一齊高 俄然四圓方 [illegible]

◎撚付依然强硬 [illegible]

下關相場 [illegible]

仁川期米 二十一日前場(低落) [illegible]

大阪天候曇天前二十六圓五十錢 昨止より十六錢安 [illegible]

十四錢と暴落 賣物多く更に [illegible]

期米反落す [illegible]

政府の干渉模様 東京市場に於 昨夜群雨 報に [illegible] 山方面に降雨 [illegible]

市場雜觀 [illegible]

小口落ち大株 [illegible]

大阪の下 入電に氣崩れ模 [illegible] 呈 [illegible] 一錢の大逆鞘 先限より四 [illegible] 現 [illegible]

仁川取引所 二十一日の八月 [illegible]

北濱たより 南船株 [illegible]

米穀大豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町 電話長 [illegible]

# 閨秀碁界覇者文子來る！

◆現代女流碁客中の第一位◇今古獨步の盛名高き四段喜多文子女史◆昨夜入京山本旅館滯在中◇在京同好の縉紳連數十名手に唾して起ち◇來る

# 喜多四段 歡迎圍碁大會

廿三日（日曜日）夏木立新綠涼しき料亭◇白水樓の別館に開催する事と確定

**規定**

△二十三日午後一時より開會△同好參加御希望の縉紳各位は△明治町二の棋會所紀本龍太郎氏△又は京城日報社營業局へ便宜至急申込ありたく△會費は金五圓當日御持參を願ふ

後援 京城日報社


# ◉支那幣制改革に就て

（三）於大連商業學校 阪谷芳郎男講評

支那幣制の改革に就きては上述の如く既に議論研究の時代を過ぎ實行の時期に入りたり之れが實行に就き如何なる方面より着手すべきかは頗る重要なる問題なり此の順序を誤るに於ては其の勞多くして效を收むる事困難なり支那幣制改革に當り第一に着手すべきは健全なる中央銀行と爲替機關の銀行の健全なる銀行を設くるに非ざれば一國の幣制の整理を爲す事能はず我國に於ても明治維新後幣制確立に當りて先づ中央銀行として日本銀行、爲替銀行として横濱正金銀行を設立したり日本銀行の目的は日本國內の金銀を極力吸收し幣制確立の準備を爲すと共に外國よりも又極力金銀を吸收し國家最高の準備に充つると共に其の發行する紙幣の準備に充つ且つ日本全國の金利を一定すると同時に能ふ限り金利の引下げを爲すを以て最も重要なる目的として居る即ち國內の金利の平低は凡ゆる殖產工業の生產費を低廉ならしめ一國產業政策の根本を成すものなり之れを以て日本銀行金利の上下は凡ての商工業及び株式界等の取引一般市場の物價に影響し日本銀行は國內金利の標準を保ち金利の平低と生產費低廉とに努め且つ其の發行する紙幣の責任正貨を擁有す爲替銀行たる横濱正金は海外要地に支店を有し貿易資金の決濟は元より常に自國商工業家の利益を圖り爲替相場及び金利等をして自國の利益となるべく操縦制策の任に當る此の二種の銀行は現代の國家の財政上缺ぐべからざる處なり然るに支那は此の二種の銀行を有するやと曰ふに全く之れを有せずと謂ふを得べし中央銀行に似たる中國銀行あれども其の本店支店の關係存せず例へば北京に於ける中國銀行の紙幣は不換紙幣なるも上海に於ける中國銀行紙幣は兌換紙幣なるが如く各本店支店共に其の土地の事情に由りて其の方針を異にす斯くの如くにして一國幣制の基礎たる中央銀行たらんとするは全く不可能なり現行に於いて支那は全く國貨なるものを有せざるなり斯くの如き支那の幣制を統一せんには先づ確實なる中央銀行を設立し一國の標準と成るべき國貨を發行し通貨の整一統合を圖り金融及び金利の實權を把握するに在り然れども之れ理論にして實行に至らば種々の困難に遭遇すべきや論なし現時支那金融界に樞要なる位置を占めつゝある彼の錢兩換店の如き又將に國貨統一に反對すべきものたるべし錢兩換業の如き全く國家經濟より見て全く益なき者にして國貨不統一の時代に在りては資本を有する者にして利益を見るに敏なる者は大抵兩換業に奔るを常とし吾國に於ても明治十五六年頃國貨統一に對し此の兩換業者の反對烈しかりし事あり然れども國貨統一の後は此の兩換業者の資本と努力とは他の產業に向け得べきを以て國家經濟上甚だ有利なり國貨不統一の結果地方兩換業者が金融を支配し居るは頗る不利益にして現に河南地方に於て物貨の買入れを行はんとする歐米人は先づ當地方に於て錢の買占めを行ひ錢相場の昂騰と物價の下落を見定めたる後貨物の買收を行ひ錢相場と物價とに由り二重の利益を占むを常とし居れり（未完）

# ◈游泳術◈

（四）神傳流師範 林 茂敏

## 原動力は唯だ一つ

要するに足の働きで自由自在

千變萬化の游泳も其の原動力たるものは一に足の力なりとす而して足の使用法には種々あるも總べて扇足及び逆扇の變化ならざるはなし此の扇足逆扇は實に游泳法の基礎にして游泳方の巧拙は實に其の使用の巧拙によりて判ずる事を得以下各部の運動に就て述ぶる處あるべし

**足の運動** 第一泳法（右下の扇横泳）直立せる棒を兩手に握り體を横にして足を揃へ充分に伸ばして水面に近く體を支持すべし先づ第一に膝を屈しつゝ前後に開き兩趾端を成るべく遠くより合する考へを以て水を挾み上部になりたる足の裏と下部に在る足の甲とを合はす之を扇足と云ふ

**手の運動** 水を枕として横臥の體形を採り左右の手は腋を張る事なく指を密接せしめ掌を下にして右肩の前方に並べ足を掘ると同時に左手を以て充分水を後方に掻きて左內腿に收むると同時に右手を進路の方向に眞直ぐに伸ばすべし伸び終らんとするに及んで徐ろに足を屈すると同時に左手は體に近く右手は掌を以て少しく水を下方に壓しつゝ右肩前に並ぶべし

**第二泳法**（扇平泳）「足の運動」前泳法と異なる處なく只極めて柔らかに動かし體の上下せざる事に努むるを要す此の場合に於て兩足の尖は合はするに及ばざる事、「手の運動」は前泳法と異なし體を平にし頭を前方に向け腰を少しく右下に捻り兩手は胸前適宜の位置に並べ足を屈すると共に靜かに前方に伸し少しく壓する氣味にて左右半圓形を畫きつゝ胸前に持ち來り次の運動に移るべし故に手は唯體を浮かばしむる助けを爲すのみにして單に足の力によりてのみ前進するものなり以上第一泳法と第二泳法とを比較するに前者は水に抵抗する面積少なき故急流又は逆水に泳ぐに適し後者は速力遲緩なる代りに遠距離に達するには頗る有利なりとす

**第三泳法** に於て扇横泳一段第四泳法に於て扇横泳二段第五法に於て片拔手扇横泳一段と區別せるも何れも頗る簡單なるものに過ぎず扇横泳一段は第一泳法に於て先方に出せし右手を伸びの止まらざる間に直ちに右外腿に扇り收むるを云ひ扇横泳二段は第一泳法に行ふ受け手を左內腿に收めずして外腿に置き再び扇足を行ひ伸び未だ終らざる中に先手を右外腿に掬り收むるものとす片拔手扇横泳一段及び二段は第三泳法の左手を左外腿の上に掻き拔き直ちに右耳下の處に持ち來り先手を右外腿に掬り附くるものとす（未完）

# ◉兵器の統理

五月三十日勅令第百七十六號を以て裁可せられたる陸軍兵器部令に由り內地各師團及び臺灣總督府陸軍部等と共に關東都督府陸軍兵器部は滿洲に在る陸軍部隊の兵器事務を統理し必要に應じ兵器部出張所を置き兵器部の業務を分掌せしむるを得る事となりたり兵器部は關東都督に隸し部長、部員、准士官下士若干名を置かるゝ事となり兵器部長職務は部員を指揮して關東都督の管理する兵器の保管出納又は查閱を司るものとし且つ兵器部長は所管內の砲兵諸工長及び火工掛下士の教育を掌理し兵器の運搬並に兵器廠委託兵器及び材料の貯藏等に關しては兵器本廠長の指令を受くる事となれり而して滿洲駐箚師團（現今は第七）の兵事務は當該師團兵器部の管轄に屬し但し滿洲駐箚師團の兵器部長は駐劄の爲め必要なる事項に就きては特に關東都督府陸軍兵器部長の區處を承くる事となり該兵器令は六月一日より施行せられたり（大連）

# ◉好箇の避暑地

◇古群山島に新設備を施して◇

群山港の近海沖合古群山列島は全島風致に富み島內到る所の海邊は白砂の晒布を敷きたるが如く海水淸澄遠く淺く眞に海水浴場として好適地なるが島內は僅少漁家の散在するに過ぎず加ふるに群山港との船舶連絡充分ならず一昨年は中山虎丸氏瀨戶山傳藏氏等に依り昨年は全州有力者の後援にて水產校長桑島謙三郎氏の斡旋に依りて僅に避暑浴客の交通滯泊の設備を施され群山全州附近各地人士の爲めに便宜を與へたるが本年は群山有力者發起となり群山古群山島間の船舶交通の便宜を圖ると共に家族同伴滯泊するも差間なき經費千數百圓を投じ數室に區劃せる三十餘坪の完全なる客舍の外沐浴場炊事場等を建設し一層設備を整へ全北は固より遠く鮮內各地の避暑客招來に努むべく目下企畫中なり（群山）

# ◉遼東銀行の增資と東拓

新募株の好況

株式會社遼東銀行は關東州唯一の支那人の農工銀行として普蘭店に本店を置き大連に支店を置きて經營し來りたるが今回東洋拓殖會社大連支店後援の下に從來一千二百株、資本金六萬圓なりしを百萬圓に增資する事となり新株一萬八千八百株は非常なる好況を以て各方面に於て引受けを終り東拓大連支店は初め四分の一以上引受けの筈なりしが引受希望者多數なるを以て株の分配上二千株を引受けたり同銀行は六月中新株拂込みを終り七月一日より本店を大連に移し普蘭店に支店を置き從前の通り支那人農工業者に資金の供給を爲す筈なるが東拓より取締役一名及び事務に熟練せる行員二名を推薦入社せしむる筈なり（大連）

# ◉仁川と海水浴

◇七月一日より開場す◇
◇商業會議所にて設備をなす◇

本年の海水浴場を何處に選定するかは色々研究中なりしも本年は經費其他の都合上先づ昨年の浴場を其まゝ使用する事に決し諸般の設備に就ては一般篤志家の寄附に俟つて商業會議所に於て其の施設を爲すべしと本年は昨年の例に鑑み規模等勿論大なるものとせず頗る實用的に些少の經費を以て充分の準備を爲す事となり居れるが浴場周圍の網及び脫衣場の建築位ゐに留め或は救助船を專用して浴期中絶えず萬一を警戒せしむる位ゐの設備にすべしと而して本年は特に入場料等を徵せず浴場は全部開放して係員等をも置かず從つて浴者は月尾島に渡れば何人を問はず水浴隨意たるべく唯渡船賃の問題あるのみなるが斯は其筋の盡力に俟つて相當の低額に割引統一を實行する等の方法を講じ浴客の便宜を計る事となるべしと而して開場は前記の準備さへ出來れば何日にても差支へなきを以て多分七月一日より開場の運びに至るべしと


**京日愛讀者優待**

東京大相撲

# 木戶割引券

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戶料を廿錢に割引致候

（大田興業中）

後援 京城日報社


# 戰塵

## ◆チエツク族◆

和解どころでなし

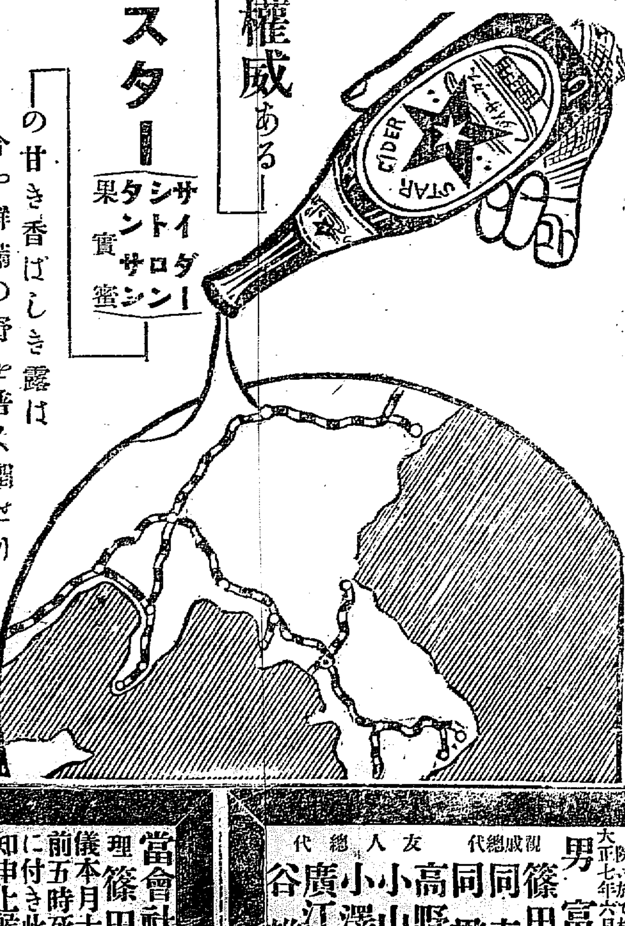
勢力ますます旺盛にして彈丸地

中部西伯利亞に於ける過激派軍對チエツク族との抗爭は米佛領事の斡旋により和解したりとの報ありしも主義に於て兩者の間大径庭ある事なれば果して根底より和解し得らるゝや疑問の裡にありしが最近イルクツク方面よりの報として露紙の報ずる所によれば兩者間は和解所にてはなく抗爭益々擴大し來りし如くにてオムスク及びクラスノヤルスク地方にてはチエツク族勝利を得て地方の政權を握り又オウニコラエフスクに於てもチエツク族勢力を占め已に地方赤衞軍との間に衝突起りたりと云ふ（オムスク勞兵會側は委員を殺され監獄を燒拂はれたる事實ありと云ふ）斯くて各地に亙りチエツク族勢力擴大し來りし爲め過般來セミヨノフ軍討伐の爲め後貝加爾戰線に赴き居たる、ハバロフスク勞兵會のアリマン執政官は同市に於ける過激派擁護の爲め部下を取纏め急遽戰線を退きハバロフスクに歸りたり又反過激派はチエツク族と提携して過激派に對抗せん兆候あるが故黑龍鐵道廳にては沿線各地に向け其の警戒方を訓電せりと倘ほチエツク、スラウアニヤ族はコウカサスと南露西亞の中間に在る純スラブ人種にして反過激派の復路派とも見るべきものなりと云ふ又西部戰線に移動すべしとの名目の下に過激派と交涉し輸送開始せしものにて先發隊一萬五千人浦鹽に到着しつゝあるが同地過激派は同族がセミヨノフ及びオルロフ一派と提携するなきやを非常に氣遣ひ居れりと（長春）

仁川米豆取引所

反過激派軍と衝突

國內を通じ同盟罷業運動行はれつゝあり


權威ある

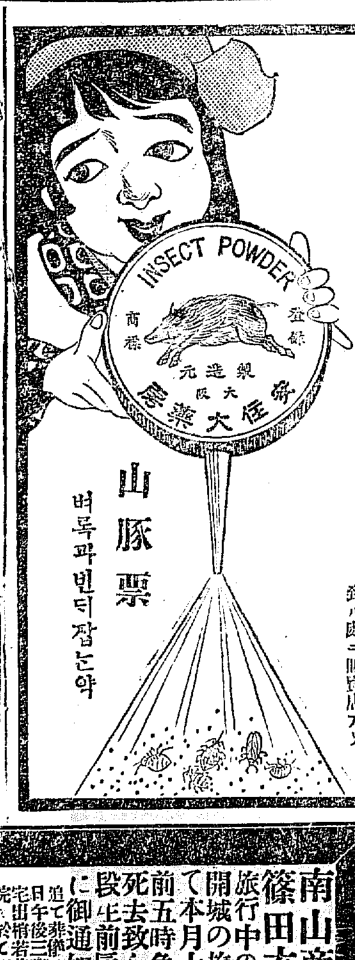
# スター

サイダー シトロン タンサン 果實蜜

の甘き香ばしき露は今や鮮滿の野を普く潤せり

製造元 京城岡崎町（電話一四二〇番）振替京城一九二一番

# 京城淸涼社




純中ノ純 精中ノ精

# 猪印のみとり粉

定價 吹出散布器入 金二十錢 立錐入 金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

山豚票

벼룩파빈딕잡는약

六月廿二日より 廿四日迄三日間

# ゆかた地デー

浴衣地の最新柄澤山著荷

破格見切反物

つり切、モス類

浴衣地倉さらへに付空前の大見切物あり

京城本町 丸一吳服店 電話 五三六

種子賣出し 定價表進呈す 賣捌店募集す

純粹魯桑 尾張大根 紫雲英

愛知縣尾張國小牧町 ㋐種苗農園


南山商會主 篠田玄一儀旅行中の處歸途開城の旅舍に於て本月十九日午前五時急病にて死去致候間此段生前辱知諸彥に御通知申上候

追て葬儀は來る二十三日午後三時自宅出棺若草町光雲寺に於て相營み可申候

大正七年六月廿一日

男 篠田富士男
篠田美孝
同 東治郎
親戚總代 同 貫道
高野省三
小山庄三
友人總代 小澤光義
廣江澤次郎
谷雄太郎

當會社社長代理 篠田玄一儀本月十九日午前五時死去致候に付き此段御通知申上候

大正七年六月廿一日

京城工業株式會社

# 塚原卜傳

第百十三席　悟道軒圓玉口演

島村小才治は妹きよの命の恩人として小太郎を厚く敬ひ屋敷に引止めて待遇して居る、其の内早くも此事が近隣の評判となつて江戸城の主なる遠山丹波守の耳に入りました、島村小才治の家へは城内の若侍も折々出入りをしますからいつか之れが聞ねたと見ゑる、丹波守は大いに喜こび、豫て小田原の石牢を破つた塚原小太郎、近藤出羽守は佐竹彈正と親類の關係があるに依つてどうか小太郎を尋ね出したいと苦心して已に江戸の遠山の許へも頼んで來てある今計らず小石川に小太郎が居ると聞いたから丹波守喜こびましたのも無理はない、茲で家臣今中筑後戸室久太夫の兩人に内命を申含めて小太郎を城内へ招かんとする今中戸室の兩人心得まして和殿の上豫て懇意にする島村小太夫の悴小才治を招いて此の事を話した、尤とも小太郎を殺すなぞとは勿論口へ出さぬが、豫て主人が小太殿の雷名を承はつてお目に掛りたく存じ居つたる處御邊の御宅に逗留めれ猶不思議の術を以つて妖狐を射殺され趣き、早くも世上の評判と相成り、此事を承はつて今一入武名を慕はしく一度城内へ尊來を願ひ其物語りを伺つて後學にいたしたく主人强ての希望でござるから是非お取次を願ひたいと卄言を以つて小才治に頼み込んだ固より若年の小才治前後の分別もなく承知をして歸り小太郎に此話しをすると小太郎弱つた、遠山は北條の幕下、先年近藤のために石牢へ入れられた事もあるから今度も何をするか知れぬ、之れはお斷り申すといつたが小才治が『それは失禮ながら取越苦勞と申すもの決して遠山殿は其樣な人でない今中戸室兩所も至つて好人物、塚原殿御迷惑になるやうな事はござらん、私がお受合申しますから、是非城内へお出下さるやう願ひます』と强ての頼み、小太郎も何さなく氣は進みませんが小才治の頼みを無下にも斷りかね、小才治も武士一旦受合つたものを斷るのも辛からうと惻隱の情に陷りまして承知をする事になつた、小才治喜こんで今中戸室に返事をする、兩人の返事を聞いて遠山丹波守大に喜こび茲で手筈を構へて小太郎を呼寄せ討取らんと圖る、小太郎勝義三度目の大難といふのが之れでございますが、お話し變つて尾州熱田なる鳥山石庵先生の下に厄介になつて居りました下國佐太夫娘照代、之れは前申上げた通り、塚原よりの賴みに依つて石庵先生一生懸命に治療をいたしましたためさしも一時盲目となつた佐太夫老人も拭ふが如く兩眼明らかになり其喜こびいはん方なく、また娘照代の孝心に感じまして小笠原丹波守先生が之れにも女一通りの嗜なみに小太刀や鎖術を敎へましたから照代も一生懸命に學びまして一年ばかり經つうちにめき〳〵上達して、大抵の門人は苦もなく打仆すやうになりました、父娘は之れも偏に塚原先生のお蔭であると其喜こびは申すまでもなく今頃は小太郎先生は何うしてお在になるか首尾よく仇討をお遂げになるやうと日頃信ずる御世音に祈つて居りました、處へ小笠原先生お出になつて塚原の許より來たといつて書面を見せました、佐太夫見ると今迄の苦心を書いて愈々常陸へ乘込んで彈正を討つ手筈を構へるがいづれ本懐を遂げたる上は御地へ參り御禮を申上げる、下國父娘一方ならぬ御世話と相成つて居るが此後とも何分賴むといふ、乃ち小太郎が四日市の船中で認めた手紙であります、石庵も之れを見てそれれでは愈々常陸へ乘込むかと心相な顏をして小笠原先生の顏を見て居ります、佐太夫諾了つて淚を流し　佐『ア、塚原先生は一方ならぬ御苦心、之れを拜見しては恁うして安閑とはして居られませぬ。

## 曆

六月廿三日九星
舊五月十五日辛丑
本命八白良危先勝

▲八白　横縞に來る事有り注意新事に合東方は吉[illegible]　▲九紫　好況の日興ふ開業入戸[illegible]　▲一白[illegible]　▲二黑　怠り氣味の事有り[illegible]　▲三碧[illegible]　▲四綠[illegible]　▲五黄[illegible]　▲六白[illegible]　▲七赤　律よき日[illegible]

## 演藝案内

### 櫻井町　大正館　電話八七三

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店

◎人情活劇『冒險氣球』五千呎
◎滑稽活劇『デブ君と舌動』
◎新派活悲劇『忘れ子』全四卷
◎義民の鑑『佐倉の曙』三百五十[illegible]
[illegible]

### 京城本町　壽館　電話一〇五〇

[illegible]

### 有樂館

早川演藝部直營活動寫眞常設館
◎探偵活劇『ダイヤの一』
◎人情劇『家を求めて』全五卷
[illegible]

### 明治町　浪花館　電話二六〇

△京阪落語々樂會一行
▲落語（小[illegible]）▲落語物まね（[illegible]）▲落語手踊（[illegible]）▲落語音曲（[illegible]）▲落語音曲（北[illegible]）▲浪花節（[illegible]）▲落語手踊（[illegible]）▲大切喜劇（[illegible]）

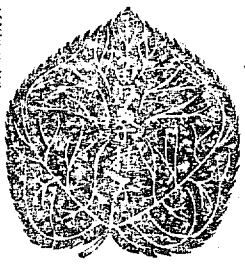
### 黄金館　電話二六三七　二六六

天活色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
◎探偵大活劇『ミスタンゲツト』全三卷
◎新派活悲劇『二ツ蛇の目』全四卷
[illegible]


贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四一番
内科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士古城憲治

りん病
消渇で困る方へ手切り
三錢送れ多年の慢性も自宅にて治す秘密の妙藥を教へて人助けに致し升
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

月經不通を快く通じ
月經不順を快く調へ
月經困難を快く治す
月經の滯りを通じ月經不順に伴ふ子宮血の道、便祕、頭痛、逆上等の良薬です。
又持藥とせば惡血を下し月經異動、子宮病を治す。
藥價　半週分四十錢　一週分七十錢　二週分壹圓三十錢　其他
本舖　丹平商會藥房


◎魯桑種子發賣◎
土佐産純粋　魯桑一升壹圓四十錢
普通　一升ニ付三圓三拾錢
御注文直ニ發送可仕候
京釜線鳥致院
朝鮮興農園
振替貯金口座京城三七番

菓子職工
[illegible]
安東縣四番[illegible]六丁目
大山軍[illegible]

醫學士岡田先生設明
醫學士常持先生發見
腦病良藥
レーベン

藥價　三円　一円六十錢　五十錢
東京銀座弓町二十二　弘濟藥院
腦病の療法代達品

陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養強健を主眼とし植物性補精劑にして其主効は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に實試上有力なる陰萎增勢藥は今直に用ふ二回の用量僅一錠
適應症　神經衰弱性陰萎・精神的陰萎・衰弱性射精・早漏・夢精・遺精
（藥價）九錠入金一圓◎廿一錠入二圓◎六十三錠入五圓五十錢◎百廿六錠入十圓
竹島製劑所　吉田萬珠堂

診察時間
自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

吾れに良品を與へよ
而して價を廉にせよ
得る所多くして失ふ所少かれとは、東西古今を通じて渝らぬ人間の欲求であります。
品質本位
花王石鹸は
夙に之を尊重して需用者各位の爲に廉價なる良品を提供し、滿天下の御愛用を俟つ。
最良の品質！
極度の廉價！

花王石鹸製造元　東京馬喰町　長瀬商會
花王石鹸代理店　大阪安土町　大崎組商會

於東京化學工業博覽會
金牌受領
最上醬油
釀造元
日本醬油株式會社


汽車發著時刻
京釜線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　湖南線　京元線（北行）　同（南行）　京仁線
[illegible]

京城日報
第五版
二十二日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價 一ヶ月七拾五錢 前金 …
廣告料金 …
發行兼編輯人 …
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

仁川期米 二十一日後場 大阪前止め二十六圓五十六錢の入電にて先限二十三圓二十二錢で一…

仁川米豆取引所

## 京城日報 佛國戰線の形勢

獨逸軍巴里を衝かむと欲して猛進し、英佛軍善く戰つて之を防ぎ、今の狀況にては遂に拒止の功を奏し得たるもの丶如くなれども、戰局は未だ固定せず、特に此度の獨軍は其衝ふ所を定めずして、只佛軍の虛を衝くことを是事とし、其目的は巴里攻擊にありといふも、時はアミアン以北に於て英軍突破を試むるとあり、其形宛も常山の蛇の如きものあり、此處數週を閱みするにあらざれば、此度の夏季戰鬪は終結せりや否やを斷ずる能はざるなり。

去三月二十一日以來獨逸軍は常に攻擊を事とし、味方は則ち專ら防戰に是れ力むるといふ有樣なるは、畢竟敵軍其兵數に於て若干の優勢を有も居るが爲にして、去月末第三次攻擊を開始する際に、三十個師團だけ優勢なりしとを傳ふ、近頃に及びて敵の損害六十六萬に達したりと云ふ、若し此の報道にして異ならずとせば、敵は最早優勢を有たざる筈なれども此の計算は或は過去のことに屬するに、あらずや、少とも今日猶ほ敵は若干の豫備隊を保留して更に新たなる策動を試みむとす、敵にして其の力を傾倒し盡くすまでは戰局は固定することなかるべし。

或は言ふ獨逸は最早戰爭を長引かす能はざることを自覺し、此の度の佛國戰線の戰鬪にて其の勝敗を決せむと欲す、是れ其の幾度失敗を招き是れ其の幾ばくの損害を被むるも猶ほ猛進已むを知らざる所以にして、其の目的は英佛軍の連接を突破するにありと云ひ、巴里を衝くにありと云ひ、英軍を海岸に壓迫するにありと云ふも、畢竟其手段如何を論ずるに過ぎずして敵の眞の目的は此に決定的勝利を占むるにあり、其何れの手段を取るべきかは、其日其日の模樣に依りて彼の擇ぶ所なりと、蓋し然らむか。

併しながら英佛軍は何時迄も敵をして其優勢を恃みて攻擊を專らにせしむべきか、佛蘭西白耳義線はその本體となり、白耳義軍其他之を補翼し、最近に及びては北米合衆國軍亦一大勢力たり、而して米國政府は現に毎月二十五萬の兵を發遣し、今年内には百五十萬の戰鬪員を戰線に立たしむべしと稱するより推す時は、敵の恃む所の三十個師團の優勢なるものは、月餘にして其の優勢たる所以を失ふべく、數月の後には味方は遙かに敵よりも優勢となるべき計算なり、近報米國大統領は佛國大統領の米軍上陸一周年祝電に答へて、米國政府は兵力の不均衡を全く除去するまで、軍隊及び軍用材料を輸送すべきを以てしたりと傳ふ然れども、米國政府は、少とも二百萬の兵を佛蘭西戰線に立たしむべき計畫を立て丶此戰に參加せるものたり、僅かに敵味方の兵力の不均衡を除去するとを以て已むべからざるや勿論にして、英佛軍努力して此度の敵の攻擊を喰ひ止め得たらば、其後は則ち米軍の力を以て獨逸軍を粉碎するの舞臺たらざるべからず。

## 新自然主義（七）

鈴木大拙

一日々々と年をとつて墓所へのみ道入りたがつてをる人々は、如何にしても今一度昔の若さに返る事が出來ぬものであらうか。潑剌たる元氣に充ちて、天地を我物のやうに思ひ、其自由なる歩行を止めんとするものなく、其光ある眼の注ぐ處に萬物悉く活動すと思はるゝ青年時期は、一歩々々老い行きさびれ行く人の上に再び來ぬのであらうか。慣習であるとか、規則であるとか、義理人情であるとか、教育、訓育であるとか云うて人の子を所謂老人の力にて押へ付けて行かうとする世の中には新自然主義の福音を再び唱へ出すわけには行かぬのであらうか、旺盛な精力、無限の信任、抑へ難き彈力性、滿足しきれぬ好奇心、畏怖を知らぬ冒險、善をも惡をも好をも嫌をも消化せねば止まぬ青春の黃金時代は只舊時の一夢として、再び之を中年期以後に實現出來ぬものであらうか。抑へ難き元氣は植木屋の松の古木を剪りさいなむやうに、その根からその枝葉からいじめ苛まねば『敎育を受けた此世の紳士』にはなれぬのか、あの元氣をそのまゝにして、是れに鍛錬を加へることは人生不可能事の一と見るべきなのか。元氣旺溢し散亂して、時に危險に迫り誘惑に陷らんとするのを適當の溝に導き入れて、而も其昔の精力を其儘に繼續する事は今の世の敎育者には望まれぬ事の随一なのであらうか青年の所謂横溢せる元氣は亂暴となる恐れがある、一個不拔の中心を缺いで居る爲め放蕩淫逸の手は彼を隨所に誘はんとして居る、物に應じて停滯せぬ氣分は輕佻浮薄の心を姿び易い、獨立獨行は眞正の自主自由と誤られて締め括りのない習慣をなさぬとも限らぬ、未だその心の中に何か一つこれと云ふものを自覺せぬ間は青年が有しをる總ての自然はその中心を失して仕舞ふこれが若い者の自然主義に危險と缺陷とが伴ふ原因なのである。其故に其儘の小兒では謳歌すべきでないと予は思うてをる、自分の心から湧き出る思想や感情は如何にも新しく純なもので、外來のオーソリチーや古來の傳說などを少しも有り難き者と思うてをらぬ、此處に若き人の力があると同時に陷穽がある、どうしても一旦は何等かの形式に於て陶冶を經て來ねばならぬ。問題は此の陶冶を如何にして有效なるものとするかと云ふ處にある青年を殺さずに、これを再生せしむる方法は如何したら好いかと云ふのが大問題なのである。世間へ出ると『あれもいけぬ』『これもならぬ』と四方から壓迫せられる。世間へ出ぬ迄も所謂現今の月並的な、コンヴエンショナルなトラデイショナルな學校敎育を受けてさへ、大抵の人は眞面目な紋切形の人物となつて『優等』の成績で卒業する、是をフイリスチンと云ふ腰辨當的人間ばかりぞろ〳〵と到る處に見當る、銀行の重役でも、高等官でも甘心持においては只是一個の腰辨當に過ぎぬ、何となれば此の如き人々の心には最早青年の喜び或は小兒の有する如き無限の喜びはない、生き〳〵した面影はない、拘々然として規則の閾を彷徨してゐるのみである、陶冶の結果はこんなものになつて仕舞つた、有難いと云うて御禮を申上ぐべきか、或は惜しい事をしたと云うて御悔みを申述べるべきであるか、今迄は恐怖と云ふ事を知らなかつた。

## 並行線 十五

瀧閑村

宜太郎から父の訃を報じだに對して、山本社長からは懇篤に弔詞に香料を添へて送つて來た。手紙の末にはこんな事を記されてあつた。

會社火災後再興に付苦心致居るが、種々の異論を唱ふる者ありて未だ臨時總會召集の運びに到らず、随つて拂込の義も決定せず候へども、拂込みて事業を開始せざれば火災の損失を如何ともすべからざる次第に付、勿論近く決定の事と存候間此儀は御安心被下、一日も早く御歸鮮待入候。

併し宜太郎は、此外に御歸鮮待入候と云つて來べき手紙の來ないのに失望した、そして日々其手紙を待つた、外へ出ても歸宅すると『嫂さん私の處に手紙は來てはゐませんか』と訊ねて『いゝゑ』との返事を聞いては失望し、煩悶して日を送つた。

宜太郎は眠られぬ夜が續いた。是は歸省した晩からで、どうしても眠られない、最初は疲勞に過ぎたからだと思つてゐたが、さう云ふ夜が續いた。強ひて眠らうと力めれば力めるほど眼が冴ゑる、追懷と想像とが際限無く連續して、曉近く僅にトロ〳〵すると惡夢に脅かされる。朝起きて頭の後ろがズキ〳〵する、鐵の輪を篏められたやうに重い、食慾が無い、欠伸が續けさまに出て、何をしても何處へ行つても樂まぬ、始終ボンヤリして、そして焦々してゐた光一も心付いた

『お前はどうかしやしないか、大變顏色が惡うて眼が腫れぼつたいぜ、醫者に診て貰つちやどうだ。』

と注意したが

『さうですか、何だか眠れなくて困るんですが、大した事も無いでせう。』

と擲つて置いたが、愈々不快の日が續くので二日、近所の醫師の門を潜つた。

藥臭い溜りに待たせられて、蹶りこくつた幾つかの青い顏を見ると、宜太郎は暗い所へ引入れられるやうに感じて、居るに堪へなかつた、それでも二三度戶外へ出て唾を吐いたが、餘り待たせられるので、思切つて歸らうとした時、始めて名を呼ばれた。醫者は容體を聞いた後一通り診察した。

『何處か惡いのですか』と宜太郎は聲を縮めてから稍尖つた聲で訊いた。醫者は靜に手先を消毒してから

『神經衰弱です、大分疲勞してゐるから、暫く養生しないと可けませんナ』

『何う云ふ風に養生すれば可いのです？』

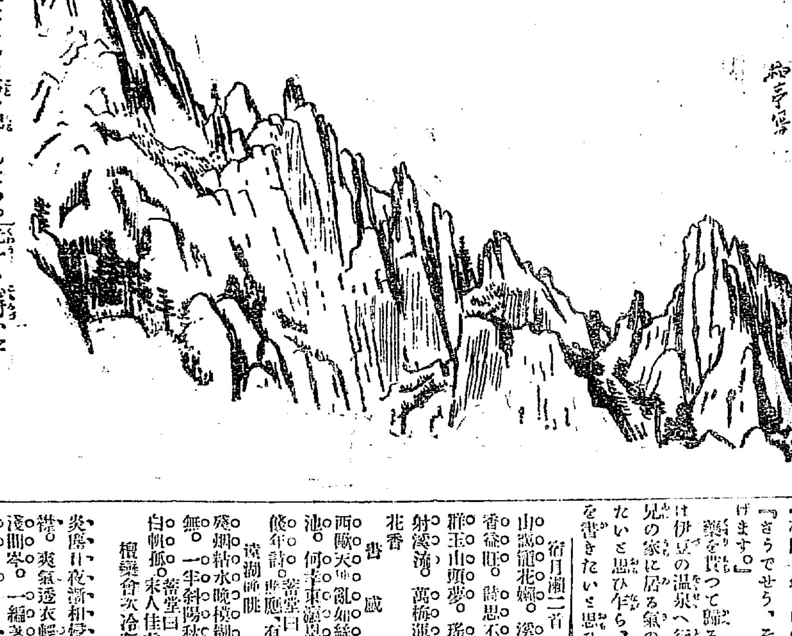
『さうですね』と云ひつゝ、代診に處方を口授して

『一番可いのは生活を一變するんですね、旅行も可い、温泉なども可い、藥も飮まにやならんが、氣を代へて、暫く氣樂に靜養を圖るが一番です。』

『夜眠られないのが一番困ります』

『さうでせう、それには頓服を上げます。』

藥を買つて歸る途中に、宜太郎は伊豆の温泉へ行かうと決心した、兄の家に居る氣の毒さからも脫れたいと思ひ乍ら、そこで靜に手紙を書きたいと思ひ乍ら。



萬物相の一部 柏亭寫

◆金剛山……石井柏亭畫伯筆

## （鮮 詩 壇）

宿月瀨二首　長洲　土屋弘

山高籠花嫣。溪畬繞竹鳴。晚來香徑田。詩思不勝淸。蕃堂曰、絕冷絕

群玉山頭夢。瑤臺臥看月。射瀨流。萬梅蓮湖雪。蕃堂曰、月光雪色

花香書感　兒山　櫻井勉

西風天地亂如絲。骸積成邱血作池。何幸東瀛恩浪穩。陶然醉唱太平詩。蕃堂曰、[illegible]

讀湖[illegible]眺　內田周平

廢壘粘水晩模糊。十里虹橋影欲無。一半斜陽秋色遠。飛鴻滅處白帆孤。蕃堂曰、寫景如畫、宋人佳處

檀欒會次冷灰博士韻　夢川　塚原周

炎威日夜漸相侵。退思空勞夢裡襟。爽氣透衣輕井澤。白雲當面淺間岑。一編著述藝入句。十載檀欒後漢心。遯跡誰同節目壯。迷濛眼底古湫深。蕃堂曰、二聯典實事用得當。

◆日本で一番多く演說をした井上圓了博士（昨年中）
四四八席一萬聽衆ざつと十萬人

過去一年間に僻陬を通じて一番多く演說したのは恐らく井上圓了博士を越すものは無からう、即ち一月から十月までに五市十四郡、百九十八町村を巡廻して合計二百三十八個所四百四十八席、聽衆九萬七千五百五十五人になるさうな更に博士が東洋大學を辭した明治三十九年以後の十二年間の演說を通算すると四十八市、四百二十二郡、二千三十二町村二千六百四十五個所、四千九百二十六席、聽衆百二十四萬七千四百二十五人になるとは大したものではないか、日本一。

鐵道局拂下品販賣
夏緋セル洋服多數 事務服として最適當品
夏絣小倉洋服多數 人夫用として最適當品
冬物絨服同外套
冬小倉服毛皮胴着
チヨキ各種多數
軍隊拂下品一式
和洋中古衣服類一式
新調洋服類
右精々勉強多數御注文に應じ可申候間多少に不拘御用命御下度候
龍山元町二丁目（長電百〇五番）
和洋衣服商 官衙拂下品 金子商店 振替口座京城三八一三

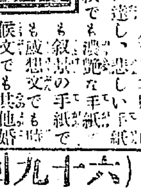
購買入札
第一號帳簿紙三千七千枚 第二號ケント紙七千枚外二點
右購買ス詳細ハ大正七年六月廿二日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

法人登記公告
長湖院地方金融組合監事朴來九ノ住所ヲ京畿道利川郡清渓面長湖院里ト變更ス
右大正七年六月拾七日登記
京城地方法院利川出張所

新溪地方金融組合登記事項中目的第八號ノ次ニ左ノ壹項ヲ加ヘ第八號ヲ第九號トシ第九號ヲ第拾號トス
九、組合員ニ非ザル者ノ預リ金ヲ為スコト
右大正七年六月拾七日登記
京城地方法院新溪出張所

書翰文用語集 定價一冊無代進呈
東京市青山南町六ノ一三五 振替東京三四八六番 手紙文庫刊行會

どんな手紙でも僅か五分間で書ける
應用自在 手紙文庫
◎頭を痛めずに立派な手紙が即座に書ける
改訂增補 忽ち十五版
◎空前の大著 全四卷完成
新體美文手紙文庫は明治文壇の美文家川上眉山先生高足岩田鳥山先生が生前の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春の卷・夏の卷・秋の卷・冬の卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語類句文例を漏なく集め、其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙でも嬉しい手紙でも濃艷な手紙でも敍景の手紙でも感想文でも時候文でも其他婚禮・祝賀・弔慰・見舞・通知・誘引・照會・依賴・謝禮・催促・答禮・訪問・兵事・學事・…



◎一等割增金貳千圓附、最初五箇年は年三回抽籤
◎初回くじびきは本年九月三回目迄同額割增金添附
◎第六十九回 勸業債券（四分利 拾圓券）賣出
◎來る七月二日より十五日まで
日本勸業銀行及各地代理店、取扱店並に郵便局にて

（六十九回）
▽二千圓のくじ△ 初回より三回まで
▽十六本外澤山△
新債券
▼即賣 一通十圓、郵送料一口十二錢
十ケ月拂、最初一圓五十錢（申込料共）御送り致します 御拂込になれば領收書を送ります番號通知を廢しました利子は差上げます
▼豫約御申込は本日より受けます 賣切とならねば直ぐ御注文を願ひます
▼新濟崩賣
福岡市博多下呉服町一（本店日本勸業銀行構內）
株式會社 勸業債券月報社 福岡支店
電話一五四五番 振替口座福岡九五〇番

朝鮮總督府鑛務課御調査
最新 朝鮮地質鑛產圖
●尺幅縱二尺四寸●橫壹尺四寸●七色刷●印刷鮮明●校正嚴密●里程表記載●
發兌元 京城本町 巖松堂書店
振替京城二四五四 電話長一三四三 一六六

▲有給社員募集
明治公債株式會社 滿洲支店 朝鮮營業部
大連三河町三十一 電話一七八九

改訂增補 第八版
計算簡捷の要訣 此書の一冊に盡く！
算手必携 此は調法
總ての乘除が加減のみで出來る乘除表。百分比千分比。計算尺代用の步合表。複利表。複利現價表。年金總和表。年金現價表。年賦金表。年利日步相互換算早見表。大正七年三月改正所得稅額計算早見表。九太立木尺〆早見表。
平方立方表。世界度量衡貨幣換算表。其他あらゆる實用計算表を網羅し其使用法及公式を平易懇切に說明せり 卷頭には大數乘算適用の乘算除算法 卷末には算珠速算法の要領を添付す
小澤啓太郎先生新著
最新型上製天金美本 定價八拾錢 送料六錢
東京市外[illegible]四三七 振替東京三九六三 平凡社

▲蠶種製造
▲繭買入所
東亞蠶絲株式會社
京城支店……龍山
大邱出張所……八雲町
尙州出張所……繭市場前
大田出張所……春日町
京城蠶種製造所……往十里
密陽蠶種製造所……驛前
春川蠶種製造所……邑外

## ○支那對西伯利方針
### 西伯利方面は日本軍隊に委任

北京タイムスの報道する處に據れば參戰督辦公署にては重要會議を開き西伯利の形勢に關し支那政府の執る可き方針を議したる結果支那は逆に內亂を平定し西伯利方面に對しては日支共同動作に務む可きも此際日本が出兵に決せば西伯利方面は日本軍隊に委せ支那は共同作戰の精神より少數の兵隊を派遣參加せしむるに止む可く決定せりと（北京特電）

## ○日本と聯絡行動せん

段總理は日支共同出兵問題に關し倫敦デーリーメール記者に對し過激派が未だ支那國境に接觸せざる今日に於て支那は決定的意見の發表を爲す能はず勿論支那政府としては歐洲戰局に注意し西伯利に對しては日本と動作を共にす可く現に東三省の國境防備に充分なる準備を整へ日本にて決心せば直に日本の出征軍と聯絡する決心にて單獨に國外に活動する事無かる可しと語れり（北京特電）

## ○對セ軍武裝解除要求

滿洲里の支那官憲は北京政府の命なりと稱しセミョノフ隊長に對し其部下の國境通過には武裝解除せよと要求し且つ武器輸送にも干涉し其銃を奪ひつゝあるよりセ軍憤慨し兩軍の衝突起られんとしつゝありとの報あり（長春特電）

## ○滿洲里住民避難準備

過激派殊に獨墺俘虜軍激增の爲めセ軍漸次不利と爲り遂にボルジヤ本部撤退の報滿洲里に達し住民の動搖甚しく過激派の殺到を怖れ哈爾賓に避難せんと準備中の者あり又後貝加爾州の避難民は家屋無き爲め已む無く列車內に起臥せる由（長春特電）

## ○哥薩克過激派に投ず

後貝加爾哥薩克一箇聯隊は今回過激派に投じたり（長春特電）

## ○墺軍モンテロ奪取

墺軍はモンテロ高地の三分の二を奪取せり（倫敦電報）

## ○伊俘虜出發

伊太利俘虜一行は廿一日午後六時米國船ローガ丸に搭乘し長崎經由米國へ向け出發せり（釜山特電）

## ○露陸軍大將來去

露國陸軍大將ベーシル、フルック氏はブラウカリン大佐を隨へ山陽丸にて二十一日朝著元直に午前九時四十五分發列車にて京城に向へり（元山特電）

## ○滿鐵六年度利益

廿二日滿鐵定時總會に提出すべき六年度損益は總益金六千九百四十二萬九千二百五十圓五十三錢總損金五千四百五十萬三千六百九圓五十三錢、差引利益一千五百萬圓にして政府以外の株主に對する配當金は年六分なり（大連特電）

## ○撫順炭坑規定改正

撫順炭坑分課規定改正廿一日を施行され各課長の任免ありたり（大連特電）

## ○淺川馬政局長官

淺川馬政局長官は二十日夜來新鎰屋に

## ○古海警務總長

古海警務總長は二十日夜新安州に著せるが一泊同地視察の上二十一日午後八時半安東通過奉天に向へり（安東特電）

## ○敦賀北鮮視察團

敦賀有志の北鮮視察團三十名は來る二十八日元山著の豫定なり（元山特電）

## ○陸相赤字社注意

先般地方長官會同の際陸軍大臣は日本赤十字社各支部長に對し左記の注意ありたる旨此程社長より朝鮮本部總長宛通牒ありたり

歐洲戰に於ける交戰諸國の赤十字事業活躍の狀に比すれば我赤十字社の戰時救護に對する平時の計畫準備は尚改善進步を要すべき事項尠からざるを歷ゆ各位は深く茲に留意し殊に其の經理を緊縮して業務發展の餘力を蓄へ既往に比し一層增大すべき救護要求に對し遺算なからしめざるべからず

## ○赤字社業檢閱

日本赤十字社各支部朝鮮本部及び滿洲委員部（病院とも）の救護團體の警備並に救護實施に關する事項は附今所在地所管師團軍醫部長之を查閱し會計事務は當該師團經理部長之を檢閱し今後有爲な當事者の努力と相俟て救護整備と會計整理とを期せむとする旨其筋より通牒ありたり此程本社より朝鮮本部へ傳達ありたり

## ◎京畿共助會準則

京畿道にては管內郡面に對し本月十三日附道訓令を以て地方共助會規約準則を定め地方人民の賴るべき大綱を示せり其の施行に就ては又前に通牒する所ある筈なるが右規約準則は總則、會の機關、事業、表彰及び懲罰、財務、加入脫退、監督及び附則の八章より成れり其の制定に伴ひ松永京畿道長官は管內郡守面長に訓令して曰く

『朝鮮に於ては地方に依り鄉約の趣旨能く行はれ長幼其の序に叶ひて一鄉を擧げて渾然一家の觀を呈し居るもの尠からずされど時勢の變遷に伴ひ其の風習漸く弛廢し昔日の美風亦其の跡を絕たむとするに至れるは洵に遺憾に堪へざる所なり是を以つて本官深く道民の將來を念ひ之を舊慣古例に鑑み之を時勢の趨移に察し茲に共助會規約準則を定め地方人民の賴るべき大綱を示し其の施行に就ても亦別に通牒する所あらむとす共助會の趣旨たるや鄉閭が一致協力に依り[illegible]しく誠實勤勉の美德を積み協同推讓の美風を來し鄰保相互の福利を進め地方里邑の繁榮を增し廣く人を濟ひ世を益せむとするに在り故を以て該準則に規定する所は德義の涵養を以つて要義と爲す蓋し是れ風敎の大本なるを以つてなり郡守並に面長は克く此の意を體し本準則に依り自ら率ゐ以て地方人民の誘掖に努め國利を永遠に增進し有終の美を濟さむことを期すべし』

## ◎繩叺生產並に包裝荷造（四）

本府で朝鮮繩叺は當局の發表したる大正五年十一月より六年十月迄滿一箇年の生產高は左の如し

| | | | |
|---|---|---|---|
| 改良叺 | 九〇三、一六〇 | 在來叺 | 二、一六〇、三三五 |
| 改良莚 | 一、一三三、二六九 | 在來莚 | 一、八六〇、四三六 |

而して販賣用に供したるものは

| | | | |
|---|---|---|---|
| 改良叺 | 八〇三〇、三五二 | 在來叺 | 一六六、一五〇 |
| 改良莚 | 四〇、三五、〇八〇 | 在來莚 | 二三八、〇六〇 |

此原價（農家收入）合計金百八十萬圓と稱す是に由りて是を觀れば兎も角も米豆雜穀類の生產增加と水產業の發達天日及び再製鹽の激增及び鑛業の勃興に伴ふ

▲必然の結果 にして今後朝鮮產業の發達に從ひ年々需要の增加は蓋し必至の趨勢にして疑を挾さむの餘地なし斯くの如く需要方面は年々增加且つ多岐に分れつゝあるにも不拘今の獎勵は殆んど各地共米豆用繩叺に限定されつゝあるは一考を要する問題ならん茲に於て予は用途と原料藁の關係を考察するの肝要なるを信ず例令平澤鳥山水原地方にても既に氣候風土の關係上藁丈短小の爲め之を續ぐの必要に迫られ莚織の際右より藁差にて藁一本を差したる同一織目に更に左より藁

▲一本を引込 み左右雙方より交叉しありて中部二尺餘は二本並ぶし兩端に藁の元の太き部分のみにて一見所謂洗ひたる如き叺にて彈力に乏しきは一大缺點ならん左れば同地方以西北の藁質は謂ふまでもなく穀用繩叺の原料としては不適當たるを免れず此地方の叺及び繩の缺點として藁質脆弱にして硬直且つ彈力の缺如する爲め神戶米穀肥料市場より照會の如き缺點を現出するに至るものと思惟す、左れば同地方は獎勵容易なる雜用莚叺及び繩に重を措くの要なきか一面又各地共原料藁の收穫及び貯藏法の

▲改良を圖る を得ば延いて移出穀物包裝の聲價を發揚する所以なり

附言此外叺の口縢りに當り卷込み折曲げの方法が所に由り一定し居らざるは一般の注意と研究を要する所ならん（全南繩叺販賣組合理事坂本由藏氏談）

## ◎京畿植付狀況

京畿道管內に於ける植付狀況を聞くに挿秧時期に於て相當降雨ありしが其後雨量尠かりしのみならず漸次旱天に傾きし爲め管內の一部に於て植付困難の聲を聞くに至れり而して挿秧は早き地方にては既に五月頃終了せし所もあり大體に於て六七分の挿秧を了せる有樣にて一部にては植付後龜裂を生ぜし狀況にて一般に降雨を待ち居るは當然の事實なれども之れが爲め昨年に於ける挿秧植付時期の如く旱害又は大減收を豫想する如き域には達し居らず爰十日位の旱天あるとも管內に於ける植付時期を失すと云ふが如き事なしと謂はざるべからず由來管內に於て最も旱害を被り易き地方は振威、金浦等にして只管降雨を待ち居れりされど未だ悲觀には當らずと當局は語れり

## ◎時刻改正發表

滿鐵京城管理局にては七月一日より實行すべき金鮮混合列車時刻改正並に支線列車增發の理由を二十二日發表の豫定にして改正時刻表は二十五日頃印刷出來の上掲示すべし尚ほ南大門驛發釜山行の混合列車は午後四時三十分なりしも午前十一時半となる由

## ◎京畿豆類實收狀況

京畿道管內に於ける大正六年中豆類の作付反別及び實收高を聞くに大豆小豆綠豆落花生其他合計作付反別七萬二千六百九十九町として此の收穫高四十五萬九千十六石なるが前年に於ける豆類作は播種當時降雨少く且其の後旱天打續きたる爲め一般に生育を抑止せられたる有樣なりと實收高內譯左の如し

▲大豆 作付反別五萬八千百五十三町八反收穫高三十七萬六千五百九十石此の一反步當り收穫高六斗四升八合を算せり

▲小豆 作付反別一萬一千百八十四町八反收穫高五萬九千四百十五石此の一反步收穫高五斗二升九合を示せり

▲綠豆 作付反別一千八百七十五町一反收穫高八千三百三十八石にして一反步收穫高四斗四升五合を示せり

▲落花生 作付反別三百四十三町二反收穫高八千八百七十一石此の一反步當り收穫高二石五斗八升五合を示せり

▲其他 一千四百十二町一反收穫高六千七十二石此の一反步當り收穫高[illegible]を示せり

## ◎露貨換算率

東清鐵道にては二十日より日滿貨物運輸に適用すべき日露貨幣換算率を百圓につき五百五十留に定めたる旨滿鐵會社に通知ありたり

## ◎三棉業會社合同

木浦所在天平棉業、木浦棉業及び日本棉花の三株式會社間に合同計畫あり既に兩三回各社幹部間に交涉を重ぬる所ありしが商議意外に進行し愈本月十、十一日の兩日に亘り木浦公會堂に於て三社の重役會同し合同に關する一切の研究を遂げ覺書を交換し合同の上新に大規模の棉業會社を創立するに決定せるが來る二十四日木浦棉業株主總會を開催し然る後三會社合同を公表する由なり

## ◎皮革會社支店設置

朝鮮皮革會社にては這回奉天に支店を設置するに決定し既に本月十六日社員川畑三次郎氏を同地に派遣し且つ寶品の一部をも發送せりと

## ◎軍司令官動靜

鴨綠江沿岸部隊巡視中の松川軍司令官は十九日午後惠山鎭著同地方視察中なる由軍司令部に情報ありたり

## ◎宮田中將訪府

二十日入京したる砲兵工廠提理宮田陸軍中將は二十一日午前九時半總督府に山縣政務總監を訪問し入京の挨拶を爲したるが同中將は二十一、二兩日市內視察の上二十三日朝平壤に向け出發都合により新義州に向ふ可しと

## ◎石光少將入京

這回支那駐屯軍司令官より憲兵司令官に轉任を命ぜられたる陸軍少將石光眞臣氏は二十二日天津發赴任の途次二十四日午前七時四十分龍山下車陸軍官憲を訪問したしとの旨同官より此程憲兵隊司令部に入電ありたり

## ◎鮮銀總裁東上期

鮮銀總裁美濃部俊吉氏は行務並に殖產銀行設立に關する要件を帶び來月上旬東上の豫定なりと

## ◎理財課長講演

有賀理財課長は二十一日午後二時より目下普通學校附屬學校內に於て開會中の公立高等普通校學教員講習會科外講演として『朝鮮の金融機關』なる題下に講演をなしたり

## ◎川上理事歸任

川上東拓理事は江華附近に於ける開墾地に關する用務を帶び二十日同地に出張せしが二十一日午後七時南大門驛著列車にて歸任す

## ◎兩代議士出發

入京中の高見、伊東兩代議士土岐書記官は二十一日夜出發歸東す

## ◎鮮銀の遣英行員

朝鮮銀行にては倫敦出張中の阿部讓氏桑港にて客死せしに付目下新に遣英行員を幹部中より物色中なるが決定次第成るべく速に渡英せしむべしと

## ◎雇員試驗發表

六月十五日施行されたる總督府雇員口述試驗の結果は二十一日發表夫々通知を發したるが今回の合格者は廿六名外に朝鮮語猶豫者六名合計三十二名なり

## ◎裁判所雇員採用

京城地方法院にては七月十日頃內地人の雇員採用試驗を施行する筈なるが志望者は自筆の願書に履歷書を添へ六月末日迄に同法院に申込むべく此の中より筆蹟優秀の者のみを選定して試驗すべしと

## ◎朝鮮燐寸總會

朝鮮燐寸株式會社は來る二十八日午後一時より仁川商業會議所樓上に於て第一回株主總會を開催すべしと

## ◎原料麥視察

帝國麥酒株式會社々長阿田伊賀彥氏は十八日來邱麥酒原料麥ゴールデンメロン試作地生育狀況視察の爲め同日達城郡壽城面へ出張したるが引續き十九日は浦項附近の視察を爲し二十

## ◎森田代議士經過良好

既報の如く輕微なる氣管支を病み十九日總督府醫院に入院したる森田代議士は經過良好にて廿二日退院す可し

## ◎片山恒夫氏退職

總督府外事課勤務屬片山恒夫氏は今回都合に依り職を辭し鄉里岡山に歸省再び來鮮の上某銀行に入る可しと

## ◎藤村局長歸京

本社の藤村營業局長は南鮮各地出張中の處二十日夜歸京せり

## 人事消息

▲白井水城氏（監獄看守） 二十一日朝入京
▲近藤平壤兵器支廠長 廿一日入京巴城館へ
▲多木粂次郎氏（多木肥料製造所主） 廿一日夜入京山本旅館へ
▲眞木仙次郎氏（京都大澤商會重役） 同上
▲谷口與四郎氏（宮川鑛業家） 同上
▲池口忠治氏 ▲石原三郎氏（大阪實業家） 廿一日夜歸京
▲秋山清氏（總督府度量衡所長） 同上
▲山川正二郎氏（新義州製紙會社員） 同上
▲富田儀作氏（鎭南浦實業家） 同上

## ◎取消

昨紙朝刊二面所載開城公立商業學校〈?〉に關する記事中金額約四萬圓寄附金募集許可書五月廿一日附到達云々の點は誤聞に付取消す

## 百聞百種

船腹不足には何の國でも大分頭を惱めて居るもこの見ねる奇拔一世を驚かすコンクリート船が發明せらるゝかと思ふと今度は米國で輕石汽船と云ふのが發明せられ▲愈々之が造船を期して二百萬圓の會社を計畫中だとはテモ早い事だがコンクリートから輕石船今度は狸の土船でも出來ると面黑い▲獨逸でも船に就て種々苦心したものと見ね此の頃携帶ボートと云ふ至極簡便のものが出來て居る▲其は全部帆布で作つたもので解體して攜帶用とすると全重量僅に約四十封度だから一人で何處へでも運べる▲其奴を膨ませると三人乘の船になるとは考へたものだ夫れ／＼國に依て其趣向の違ふ處が面白い▲鐵綿界の大家本多岩次郎君は此程染井の墓地に先妻の墓碑を建てたが碑には先妻の名は勿論中央には自分の名を彫り▲御丁寧にも新夫人の名迄刻んで平氣で居る▲新夫人の里方では何が何でも之は緣起でないと嚴重な抗議を持ち込んだ▲本多君恐れ入ると思ひの外一體僕の今日あるは亡父のお蔭である處が僕の子供は皆不肖で僕の死後は亡父の墓よりも大きい墓を建てるかも知れぬ▲だから遺言丈けでは安心が出來ぬから生前に建てたものだが新妻の名を刻んだのは▲二世も三世も契りを固めたいと云ふ僕の眞意を示したものに過ぎぬのであると▲ナール程其れならと苦情も引つ込んだ相など

## ◎大阪財界便り

[illegible]低勝れず例年に比して稍客足の[illegible]店の商勢もあり各產地とも大幅の[illegible]は甚だ目立しく[illegible]成功の域に進[illegible]と大部分の雜貨は米國のサンフ[illegible]其他の米人は各方面に活躍[illegible]値頭にて夏物賣行良好

△支那新棉出廻期 支那[illegible]れば賣[illegible]融せず（大阪支局）


## 支配人

心得採用◉多く知人信用を有する活動家成績に依り一ヶ月にて支配人に登用日給日給迄支給（日用品廉價供給事業）希望者返券入申込次第詳報す
法人組織東京日用雜貨製造組合直營部
資本用各地代理店 東京本鄕區湯島六ノ一五

## 出張所開設

京城府南大門通壹丁目二十二番地
合資會社 渡邊商店京城出張所 長電話二九〇六番

營業品目 內外洋紙、各國產紙、壁紙、襖紙、紙箱用一切其他各種
右之通營業開始仕候に付本店同樣御引立御愛顧之程奉希上候 敬白
大正七年六月
金澤市安江町 合資會社 渡邊紙商店 長電話三十八番

## 新刊發賣

圖工となる迄
工學士 小川芳太郎氏著
製圖上の最新知識は絕大の好評[illegible]百有餘の圖版を挿みて平易に記述したる本書は[illegible]修養を怠る勿れ 四六判全一冊 正價金六十五錢 郵稅金六錢

視距測法 附地形測量法
工手學校講師 花村米三郎氏著
スタヂヤ測量の原理及應用を數多の圖版に依りて初學者にも解し易く極めて平易に記述したるものなれば一般土木測量に從事せらるゝ諸君の參考として缺く可らざる良著なり 四六判全一冊 正價金六十錢 郵稅金四錢

發行所 東京神田表神保町三 工學書院 振替東京三九二〇

スタヂヤ測量算法
測量技師 山崎守作氏編
スタヂヤ測量の理論及實驗上の精度に鑑み計算の困難にして且つ誤り易き數術の乘數を省略して尤も迅速に正確なる値を算出し得る方法を按出し其算法を說明し添ふるに角の公差度器の公差表及三角形の計算諸公式タンゼント及サインの近似値等を以てしたる斯業必携の寶典也 懷中入全一冊 正價金二十錢 郵稅金二錢

滿鮮發賣所 京城本町 振替二五七三番 電話六八四番二〇八六番 大阪屋號店

## 配當と新局面

歐洲戰局、小口落禁止に基因する悲觀相場實現に拘はらず乘替の爲め、本日一口‥十六圓の配當を了せり
是れ諸君と共に欣快に堪へざる處也‥今や陰翳既に去り株界は決河の勢を以て奔騰せんとす船舶株殊に其然るを見る‥茲に第五回を組織する全く右趣意を洞破せるが爲めのみ、敢て諸子の馳せ參加を望む‥會則贈呈す
加入金五十圓 申込期間七月六日迄
日本信託商會證券部
第五回 株式（商新）（鐘新）買同氣會
大阪市北區堂島濱通一丁目二 電話長北九七二〇 振替大阪四五六九番

## アスファルトフエルト 便利瓦（和製マルソイド パラロイド）

京城永樂町二丁目六〇 德田商會 電話二三二五番

## 金庫を備へ付けらるゝ位の人にして竹內式ベント式を知らざる人は恐らくあるまい

京城本町 熊平支店 電話長六二四番 振替京城三二五番

## 職業

日韓專賣特許品原紙試驗の發明品製造業[illegible] 中無休設備完全にて取扱親切 賃違近時雨共男女何人も熟練日收一圓以上說明見本案內 入郵券拾錢要
京城市本所前 上田總本店

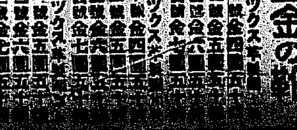
## 舟遊びには

漢江 遊船俱樂部 龍山電話一〇[illegible]番 △御一報次第參上▽

## 一火藥外參點

右購買ス詳細ハ六月二十二日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

## 東京三金の靴



右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て製造せし品なれば一般紳士靴として好適品なり御注文の節は靴の種類と足型寸法御通知あれば代金引換小包料實費にて御送附申上候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九 振替東京一七二〇
寸法用紙付目錄送呈

## 富の道しるべ

山縣五十雄 村上唯吉 共著 京城太平通 振替京城三〇〇番 日報社

## 京日案內

▲申込後中途解約は出來ません ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲照會には返信料御添へ ▲御照會は必ず數字の番號御記入の事
普通 一回一行金[illegible] 五十錢 番外[illegible]

美術刺繡專門 裾模樣帶製 一切地方は御照會次第御便利申候 京城日ノ出町三[illegible]

◉ミシン職人大至急入用 但し小倉服の縫へる人 平壤大和町 小町屋商店

外勤事務員至急入用希望者は履歷書携帶來談あれ 黃金町貳丁目 京城新聞社

▽融通 月收の御方へ極秘迅速 大和町三ノ三二（柄澤前）惠木

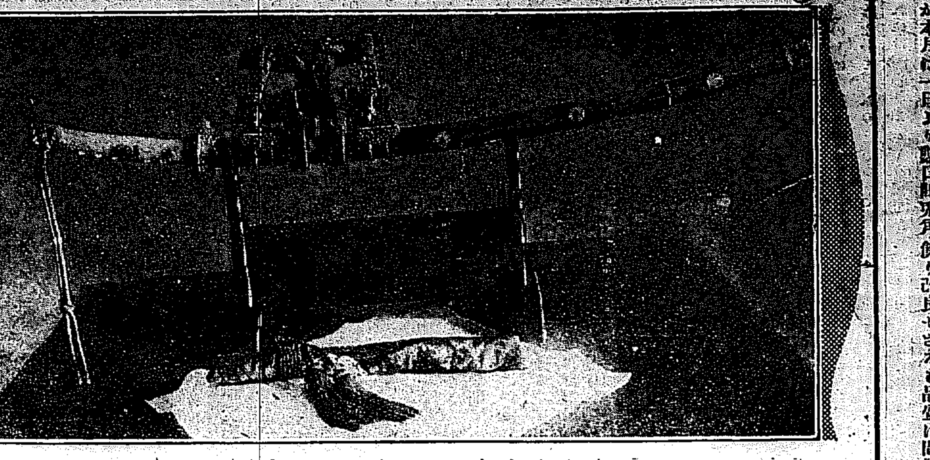
時計見習入用 年齡十四五才 望者は本人來談あれ 但要保證人 太平通二ノ二四二五 向井時計店

◎左官用布海苔 銀杏草並に櫻草 全羅南道木浦府 諸海草御商 山本萬次郎商店

御下宿 御客樣に對し親切丁寧御取扱 閑靜にして[illegible] 西大門町 電話二六二五 優翠旅館

△米人西伯利活躍 米國［illegible］西方より入るものは［illegible］人の北滿及西伯利亞に於ける活動［illegible］西亞菓子の如きものにて其他殆んど米人の活動は獨りチユーリン商會あれ［illegible］時期に入り夏物の［illegible］非常に手後れし今春とは［illegible］値段は昨年同期に比し二割五分方高値を唱へ居り産地一體に强氣也 五百俵の古棉あり三十三兩に非ざ手放さず山東省濟南の市場には千［illegible］

［illegible］外人七名［illegible］多賀正之助、櫻井文太、同貞子、井上てら［illegible］三等（三百十七名）［illegible］



東京市よりコンノート殿下へ獻上の太刀

## ●コンノート殿下 御招待晩餐會

英國大使グリーン氏夫妻の主催に係るコンノート殿下御招待晩餐會及び招待會は二十日午後七時半より同大使館にて催されたり右に就

▽主賓殿下 には伏見宮貞愛親王、東伏見宮依仁親王兩殿下同妃殿下、米・佛・伊・露・白・暹羅・伯西兒・支那の大公使夫妻、松方內府、東郷、井上、伊集院、川村各元帥後藤外相其他各大臣等と食卓を倶にせられ御交歡あり晩餐御終了後九時半よりグリンハウスに於て內外交團員

▽三百餘名 のレセプションあり杉葉の緑凉しき間に緋のモールを點綴せる大ホールに歡語漲きず殿下には餘興なる色紙千代紙の刷出しの鮮かなる手振りを御觀賞あり二十一日午前零時半御機嫌麗はしく霞ケ關離宮に御歸還あり　たり（東京特電）

## ●一兵器支廠位に 隨喜する樣では駄目

地方有資家が奮發して盛んに工業を起さなくては

＝砲兵工廠提理宮田中將語る＝

砲兵工廠提理宮田中將は二十日夜入京し巴城館に投宿した車中に訪へば老巧らしく綺麗に禿げた頭を撫でながら『や御苦勞釜山でも君の社の記者から朝鮮の土產話になるやうな事を聞いたが何か面白い話はないかね………

◇なに土產話 は俺から貰ひたいと、平壤の兵器支廠の事なら俺よりも近藤（平壤兵器支廠長）の方が委しいよ夫よりも表向のプログラム以外に是非見なくてはならない者を數へて呉れ給へ何分朝鮮は始めてだからね、ハツハツ……』と言つた調子頭同樣

◇滑つこい事 記者が開き直つて質問に及ぶと夕刊釜山特電と同樣の獄を試み且つ『平壤兵器支廠は大正九年の四月頃から操業の豫定だが製糖會社同樣器械類が揃はぬので一寸困つて居る平壤では二三年來工業

◇勃興の機運 が向いて來たと言ふので地價が騰つたり人口が增加するさうだね結構な事だが餘り上つ調子になり過ぎると鎮海の轍を履むよ土地の有資家が一兵器支廠などに隨喜渇仰の涙を流して居ては駄目だ自ら進んで民間工業を興さなくては…砲兵工廠の

◇職工の依託 養成かねあれは民間で兵器製造でもする者があるならば職工を養成してやると言ふ迄の事で工業動員の前提でもなんでもない大阪あたりには隨分企業家もあるが兵器でも製造して支那方面に供給しようとする者は全くない

◇戰爭目當て の會社が昨今續出したやうだが平和克復の曉はバタ〳〵倒れて了ふやうなものが多いのは遺憾だ、今度の戰爭は智慧競べの戰爭で甲國が毒瓦斯で惱ませば乙國は裝甲自動車で攻め立て丙國が巨砲を發明すれば丁國がより以上のものを作り出す、恐る可きは人智で一寸でも油斷をして居る事は出來ない併し餘り先に進まう進まうで時々發明が

◇遊戲化され る事がある彼の長距離砲の如きは其一例であれなどは戰爭中の餘興としては御念の入り過ぎたものさ、飛行機は益々發達する日本などでも既に日本獨創の發動機を製作しつゝある程であるが將來の戰爭は飛行機がなかつたならば出來まい』

## ●西伯利亞へ船買に 持つて居るが禍の原で賣拂ふから

◇滿洲の一攫連が資本家を口說いてのこ〳〵出掛ける

過激派の遣方の目茶苦茶な事は今更でもないが露領西伯利亞方面では資產家の財物は悉く沒收されるので有產階級では持つてるのが

◆禍の原 と言つて如何なる物でもどし〳〵二束三文で叩き賣つて了ふ其處へ早くも眼を著けたのが馬賊の眼玉を拔くと言はるる滿洲の實業家連でブラゴエチエンスクあたりで血醒さい風が吹き暴れてる頃から冒險的に乘り込み黑龍江沿岸の船會社や運輸店などからほんの

◆淚金で 船舶を買込んだ上之を解體して金目のものだけ滿洲に運び出し一躍船成金になつたものもあるさうだが中には二三千圓の資本から數十萬圓の巨利を博したものもあるとかでさらぬだに大袈裟な滿洲の一攫千金の夢想連はぢつとしては居られず

◆資本家 を口說いて西伯利亞に船買ひに出掛ける者もあるとの事で豆粕氣鐵景氣の大連あたりでは船成景氣で素晴しい人氣である（小田原氏談）

## ◆世界第一の勇者

日本が同盟國である事は心强い

英國で日本人のモデル事は全く素晴らしい

◇コ殿下御渡日も英國民の歡喜

郵船丹後丸船長富永淸作氏は最近の英國事情について語る

『コンノート殿下が日本へ御出發になる事は倫敦滯在中新聞で拜見したがこの事が一般に知れ亘ると各階級を通じて一層

◘親日思想の 上に好影響があつたやうに見受けられた私は十五年前から船乘生活をして今回の航海迄に英國へばかり都合十二航海をしてゐるから其間英國人の日本に對する感情思想の變遷といふやうな事が私には朧氣ながらも感得されるのですが一般的に言ふと親日思想と謂ものも漸次より

◘良き意味の 方へ近づきつゝある事は明かに認められる、殊に開戰以來英國人が日英同盟の難有さを感じた事は大變なもので東洋に同盟國の日本在る事は何よりも心强い ここだ と曾ふ人々が口にせぬものはない位で到る處日本人と見れば向ふから帽子を取つて話し掛ける、汽車や電車の中では態々座席を讓る、料理屋などでは卓子の違つた連中までが我々

◘日本人の爲 めに乾盃（禁酒令實施以前）するといふ有樣であつたから開戰以來倫敦市中で日本人のモデル事は全く素晴しいものだ、私は倫敦滯在中地下鐵道や公園などでよく知識階級の人から道處お世辭を浴せられた「日本人は實に强い日本の軍隊は殊に强い日本人は先天的に

◘世界第一の 勇者でそして好戰士である、その日本人が我が英國の爲めに出兵して呉れたらそれこそ鬼に金棒で獨逸民族などは鎧袖一觸だ——これが殆んど極り文句である、又英國では昨今物資の缺乏で大變に困つてゐるが『日本が若し肉とパンとを無盡藏に英國の爲めに供給してくれたら

◘印度位は其 儘にソツクリ差上げてもいゝ』など諧謔まぢりに聊言を並べる老紳士もある位である要するに英國人の親日熱は却々熾烈なものであるから特使御派遣の事でもあつたら國民全體の親日熱は殆んど沸騰點に達するであらうと思はれる」

## ●瞞し擊ちを 食つた陸建章

不思議な夢が事實になつた陸建章は安徽督軍乘取り策が失敗に歸して後南京上海のあたりにぶらついて居つたが［illegible］三人の名を以て天津に督軍會議を開くから列席せよとの電報を受取つた同氏は勿論僞電であつたに相違ないが浪人の陸は之を見て時來れりと喜び［illegible］を携へて天津に乘り込んだのは十三日であつた翌十四日の午後方徐樹錚の宅から使者がきて只今拙宅に

◆督軍代表 集議中なれば早速來臨を請ふとあつた陸は從僕一人を伴ひ自動車にて倉皇徐の宅を訪れたが督軍會議とは全くの嘘一杯喰つたと感付いたが最早晩いせめての腹癒せにと徐樹錚の無謀なる主戰論を冷罵したが徐はこれを聞き畢ると同時に左右の者に何か合圖をしたと思ふと豫ねて用意してあつたと見え突然屈强の若者五六人現はれ陸を物も言はせず

◆高手小手 に括り上げた次の間に控へて居た從僕は主人の危急を知つて之を救はんと力の限り格鬪したが多勢に無勢遂に組み伏せられ斬られる突かれる無慚な死を遂げた陸は其のまゝ中庭に引摺り出され一發の下に射殺された丁度この慘劇が行はるゝ五日前であつた陸の愛妾は一夜陸の闇殺が浮び出た惡夢を見た、不吉な事よと愛妾は陸に［illegible］張る政治なんかに携らぬ樣にと泣いて頼め［illegible］氣になるので最後の

◆僧侶を呼 んで厄拂をして貰つたが妖夢は遂に事實となつて現はれた愛妾は陸の死をきくやこれまた自殺を企てたが人の爲めに阻まれ果さなかつた陸建章はかくの如くにして斃れたが彼が無頼漢肌であるだけ其の部下には多數の無頼漢がゐる、現に山東陝西の土匪なども多く

◆彼の配下 である彼れ幹部［illegible］として親分のために復仇を圖らんとも限らぬ現に天津には昨今陸の配下が多數潜入したといふので徐樹錚も氣味が惡いと見え平常に數倍する衞兵をつけて身邊を警戒してゐる（天津）

京日愛讀者優待

東京大相撲

木戸割引券

（群山興業中）

後援　京城日報社

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

## ●在米獨婦人 登錄開始さる

獨逸婦人の米國に在る者の登錄は十七日より開始され來る二十六日迄繼續すべし右婦人等は無帽正面向きの寫眞を持ちて自身出頭せざるべからずと（華盛頓電報）

## ●米人の奇禍 自動車墜落

して重傷者を出す

仁川牛角里に居住せる米人アッキンソン氏は先頃自家用自動車を購入せるが二十日午後五時頃上海に居住せる某外人客の來訪あり來客と共に家族一同自動車に搭乘同家を出で將に牛角里の峻坂を降らんとする時客の握れるハンドルに狂ひを生じアハヤと云ふ間もなく自動車は右側の堤防下迄約三間位の所より墜落轉覆し之が爲め來客某外人は肋骨に頗る重き打撲傷を負ひ主人アッキンソン氏及び夫人運轉手等も亦輕少なる打撲を受けたり因に外人客は應急の手當を受け二十一日京城英國病院へ入院せり

## ▼無料で豫防注射する

本町警察署へ申込め

府警務部に於ては腸チブス及パラチブス兩病に對する豫防注射液を製出し希望者に對しては無料注射を施行する由なるが該注射の豫防上有効なることは今更言ふ迄もなきことで此の際之が注射を行ふは最も緊要なりと思料せらる此の注射を希望する者は每日午前八時より正午迄は隨時不可能者は每日午後一時より同四時迄は隨時本町警察署に自ら出頭して其の旨申込まるべしと

## ●口を愼め 蠅を驅除せよ

安全第一のチブス豫防

近來京城市內に於てはパラチブスの發生頗に增加し六月に入り發生患者已に百名を超へ尙蔓延の兆あるを以て警察署の如きは殆んど其

▲豫防に忙殺 せられ居り又總督府學務局に於ては市內各學校に對して學校の淸潔消毒方法職員生徒の豫防心得に關する注意を與へ之を實行せしむる等豫防方法の勵行に努めつゝあり本病は言ふ迄もなく消化器より入るものなるを以て飲食物に注意し

▲生物生水を 用ひざる樣にし又病毒附著の虞あるものには觸れざる樣するを肝要とし其の他不規律なる生活をなし胃腸を損ふときは自然本病に冒さるゝの因となるを以て注意するを要す尙蔬菜の如きも洗滌したるものは危險なれば絶對に之を需めず又一般家庭に於て

▲便所を消毒 すること及び塵芥溜場に石油乳劑を撒布して蠅の發生を防ぐと同時に蠅の驅除をなすは本病のみならず他の傳染病豫防に就ても有効なるを以て實行せられたきものなり

●洋畫家懇親宴 目下滯京中なる洋畫家小林萬吾、石井柏亭、兒島虎二郎三氏は往年共に佛國に遊び起居を共にしたることあり偶然にも京城にて落ち合ひたるを機とし二十一日夜南木堂にて懇親宴を催したるが京城の洋畫家高木背水氏も同樣の緣故より之に參加せりと

●本能寺の法話 府內本町旭町通り本能寺にては二十二日午後九時より定期法話を催し『智者と愚者』と題する說教を試むべし

●旭汀會三周年記念大會 市內南山町旭汀會にては開設三周年記念の爲め二十二日（土曜日）午後五時より本町［illegible］館に於て第三周年記念筑前琵琶演奏大會を催ほすべく旭菊、旭汀師の『須羽與小督局』五絃合奏等は當夜の聽きものなるべし演奏曲目左の如し

敦盛（汀玉）白虎隊（汀代）松の廊下（汀鄕）西條殿（汀水）海洋局（汀菊）常陸丸（汀山）本能寺（汀華）櫻狩（合奏 汀水）（旭仙、旭虹）旭邦（汀鶴）村上喜劍（旭代）筑後川（旭次）高田の馬場（旭堰）山科の別れ（旭仙）湖水渡、旭邦）富盛（旭渦）香松中尉（旭江）菊の露、旭篇）祝三週年吟（合奏）（汀鳳旭堅汀玉汀文汀美汀［illegible］汀歩汀櫻旭汀汀江汀代汀聽汀花汀正汀杏汀星汀税旭次）橘中佐 旭宿 茶臼山（旭旌）賤ケ嶽（旭洋）境の浦（旭砂）大高と吾（旭耕）項羽上五絃（旭葩）項羽下法縁山（旭汀師）小督局（合奏）五絃法縁山旭茹旭宿旭貫旭汀旭葩旭砂旭鶴）

◎中古鑛山機械讓受度

二百叉は三百封度五本立スタンプミル ウヰルフレーテーブル各一台 八叉は十馬力サクションガスエンジン 右讓受度し 京城花園町六七（八郎）

旅館開業御披露

今般元明治旅館跡に於て家屋全部改造新調を爲し更らに面目を一新し業務開始仕候間何卒御投宿被成下度偏に奉願候也

大正七年六月

京城明治町二丁目四十二番地 明治旅館 電話二七六八番

星印ソース

今やいづれの御家庭にもてソースは星印を御愛用になる

本品は其品質と賣行きに於てソース界の明星なり

全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

發賣元 大阪市 祭原伊太郎

最新刊

朝鮮法制研究會編 縮刷 朝鮮法規提要

新約物語 野澤雄［illegible］ 一、五〇

縮刷 日本橋 泉鏡花 九五

史話と文話 荻野由之 一、八〇

三浦［illegible］著 會社商人に必要なる商法釋義 定價九十五錢

獨乙は何故敗る 大日本文明協會 二、二〇

禪學要義 加藤咄堂 一、〇〇

小學歷史教授の改教材研究 宮本武男 三、二〇

京城管內圖 番地入 特一、七〇 折本 五十錢

史蹟文華 忍ぶ面影 石井典江 六五

小てる賢太郎 吉田常夏 六五

四ツの悟號 加藤朝鳥譯 九五

前川平造編 九種傳染病豫防軌範

京城本町 大阪屋號 電話［illegible］ 振替京城［illegible］

（本店）東京（同店）大連、旅順、奉天、釜山

○同業者に限り御値段表進呈可仕候

自轉車部分品卸商

京城南大門通一丁目九十五番地 清水自轉車店

工場 京城黄金町一丁目 電話二八九三 振替口座京城三四〇六番

優等淸酒

廣島縣西條町 醸造元 木村靜彦

京城府鍾路（中央市場） 發賣元 河野酒店 電話三三〇

洗濯石鹼角形專門

角形石鹼元祖 浦本石鹼工場

京城南米倉町二八四番地 電話二一九四番 振替京城三一三九番

電鈴乾電池 京城朝鮮銀行横 電話［illegible］ ヒオキ商會

美味 滋養 純生粹 葡萄酒

類似品あり赤玉印に御注意！

赤玉ポートワイン

「朝夕の一杯は百藥に優る」とは赤玉ポートワインの格言である、美味で滋養の本品は健胃、補血、興奮、强壯、の効驗著しく完全に其の目的を達する衞生葡萄酒にして今や大醫方の處局にて滋養强壯劑として採用されつゝあり

赤玉規那鐵葡萄酒 赤玉生葡萄酒 輸入本店

七十大醫學博士の賞讚と證明を有す

## 値上廣告

物價騰貴に伴ひ組合決議の上本日より女髮結賃左の通り相定候

一等二十五錢 二等二十錢 三等十五錢

番外十錢 いずれも五錢增

大正七年六月十九日

每月十七日休業仕候

京城女髮結組合

# 妻の心　十五

小林蹴月作　武内桂舟畫

（三）の六

『ねね、櫻井さん、情願然う云ふ事に爲て頂く事は出來ませんでせうか。』

禮子は、世間や義理を打捨つて了つて、心からのやうに擧ろ肉迫的に囑んだ。順吉郎は、益々當惑しきつた顔付。

『本統に眞面目に、禮子さん、貴女はそんな事云ふとるんですか。』

『眞面目にお訓ひしとるんで御座います。妾は、妾一人の苦痛を犧牲にしてでも堪へ忍びます代り……什うにかして、家庭内の平和を保ちたいと翼つとるんで御座いますが、それには、良人が平素から

嗜んで居ります……例へて申せば菊の花なり、ダリヤの花なりを、側に美しく飾つといてやりますより、他に方法はなからうやうに存じますので……。』

『はゝあ、成程。貴女一個の貞淑とか淑良とか云ふ方のお考へからは、それも御道理のやうに思はれますけれども、町川さんが、第一そんな事を實行し得るか否かも疑問ですし、假りに縱し、實行し得られた所で、當家の伯母樣が御承知なさる氣遣ひがありますまい。まあ〳〵、僕の意見としては、その事丈は、お考へ直しになつた方が、可からうと思ひますね。』

順吉郎は、如何にかして禮子に焚き付けて久三郎の現在の地位と名譽との上に、何等かの支障を來さしめたいと思ふのであつた。それには内心さま〴〵の原因もあるのであらうが、一度は、禮子の花婿となるべき候補者の一人に擬せられた自分が、横合から顯はれて來た赤の他人の久三郎に勝を占められたと云ふ嫉妬的の怨みも籠つて居やうし、又最近に於ては、森ケ崎の若龍問題が特に著るしく彼の狹量なる陰險性を發揮せしめたのである。で、實を云ふと花柳新聞の柴田某とやらを玉に使つて禮子の意向を探らせ、且つは幾分それとなく、お爲めごかし的に、の飲代に有付かしむべく畫策したのも、悉皆此の順吉郎が小手先の手品から來たので、只譯もなく、久三郎の爲る事爲す事が癪で〳〵堪らないのであつた、從兄妹同士とは云ふもの丶、左程まで陰險性に富んだ男とも知らない禮子は、反つて親類づからの親切心で云つて呉れるものとのみ信じて居るので

『それも然うで御座いますね。母の彼の氣質では一家庭の內へ粹者の女を引入るなぞ云ふ事は到底肯き入れやう筈は御座いませんけれども……』と申して、此儘良人が半月も一月も歸て參らない樣な事がありましたら結局妾の身を犧牲にして、死んででも了ふより外はないでせう。櫻井さん、後生で御座いますから、妾の命を助けると思召して、良人を呼び戻して頂くやうに、お智慧を貸して頂きたいんで御座います。』と、禮子は折入つて眞劍に繰返すのであつた。

『實弱りきつたものですね。貴女には無論大に御同情しとるんですけれども、何にせよ、肝腎の御本尊が魂何頂天と來てお在るんですからな。』と、云ひさして順吉郎は、勿體さうに小首を傾け、

『ぢやア如何です。僕は幸ひ今日は日曜日で、銀行の方も休みなんですから、貴女に若し、外出なさる丈の勇氣がお有りなら、自動車で一走り、御一緒に森ケ崎まで迎ひに行くと云ふのは？』

順吉郎は、到底今日の禮子に、そんな元氣も力もあるべき筈がないのを、承知して居ながら、故意と云つて見たのである。

『さあ、それが出來ます位なら……。』と禮子は、術なげに唇を噛んだが、

『……それとも、關山先生の方へ一應電話で御照會して見まして。若し一時間や二時間自動車に乘つても差支へないと云ふお許しが出ましたら、御一緒に連れて行つて頂く事に致しますか知ら……。』

斯う云ひながら、禮子は、手元の呼鈴を鳴らして、兎も角もお俊を呼び寄せたのであつた。櫻井は第二の意外に打たれて、見直すやうに禮子の顏を凝視める。

## 日報俳壇

春季雜詠　楚川

厨綺麗に掃かれて妻の日永哉
朧夜や大河に動く筏の灯
鶏舍出づ相挑む雛や春の霜
雲雀落つる野の暮色急ぐ脚哉
春立つや妻に屆きし髪の物
海の旭に春立つ宿の障子哉
枯蘆に風や江の風や別れ霜
東風吹くや灰捨て出る庭の隅
炊烟絡む丘の小家の雨の東風
春雨に聳るポプラや廊の灯

笛木

さし木して高々とわり傘の衣
汐干船下りて擴ごる女工かな
島貉の暮色迫るや汐干狩
長閑さや雀集まる秣桶
荷下ろして暗き玄關暮の春
牛車夫に花見の唄が聞ゆ哉
サフランの花に光れる雨滴哉
汽船過ぎて搖るゝ小舟や春の海

持曾

初雷に土豪の屋墓ある日哉
山吹の根に物食める子鷄哉
山吹の裏戸に磨き流れ哉

草雨

大寺の甍深き雨や鳴く燕
陽炎や腰蓑置きし磯の岩
草の花を帽子に挿すや春の山

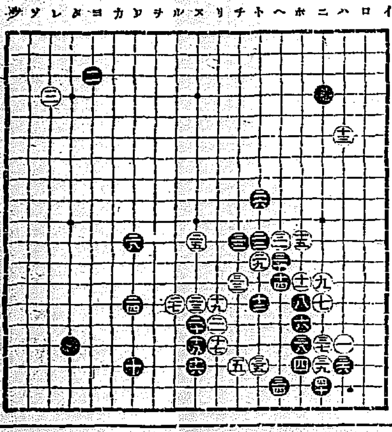
腹じ

囀に川往く馬の高荷哉
囀や二階見て居る舟の人
牛總て伏せる牧や春の草

## 碁戰（二）

（大正七年六月九日於園非大會）

四段　齋藤賢德氏
二子　白　南　圭氏



二一 ○ リの十二
二二 ● トの十一
二三 ○ ヌの十四
二四 ● ソの十四
二五 ○ ヌの十一
二六 ● トの九
二七 ○ ルの十四
二八 ● ソの十一
二九 ○ トの十三
三〇 ● への十三
三一 ○ への十一
三二 ● チの十一
三三 ○ チの十三
三四 ● への十六
三五 ○ トの十七
三六 ● ハの十七
三七 ○ ニの十六
三八 ● ホの十六
三九 ○ ニの十七
四〇 ● ニの十六

▲昨紙所載黒十（ヲの七）は（ヲの十七）の誤植に付訂正す

## 讀者の領分

▲僕は或會社の給仕であるが一寸急用あつて北米倉町を少し下り會社に通知する事があつたので何やら、のんだ人とのまない人の看板のある家で低頭甚だ申しますが一寸お話が拜借致したうございますと頼んだ處勿體ない京城で新飲料なぞ假せんさして居る。剛る商人の妻は『ドナタ、ア、家には貸す電話はありません』と而も御挨拶たるや最も不誠實だつたが電話は外方のもの此方は借手已むなく其家を出たそして筋向で拜借して用を了へたが何、諸君には御存知ではないですか、苗字は吉替ござか申しました

▲米乳は狂し（ケオ生）▲六月廿日朝刊愛犬家に告ぐ愛犬サナダ虫の騒ぐ陽は常に『ユソウ』又は『マッチ』の飾の發火する薬の分を少量食物に混じ與へるべし臣に生肉を禁ず但しこれは素人療法ならん（愛犬生）▲六月十二日の新聞に貨物拔取事件廿九名檢擧と云ふ事が貴紙に掲載してありましたが是れは事實でありませんが昨年十二月と本年三月に酒の二斗樽一個五升宛拔取られました何處にも不正の者が隨分ある樣ですから貴紙に依て大に其の不都合な當局者に注意して貰ひたいです是れは私一人の爲でなく一般人民の爲めです貴紙に依て幾分の被害を減じたら幸甚です（龍城久野生）

## 新刊紹介（到著順）

▲亞細亞時論（二の六）社說、時論資料、雜錄、通信、時報、歷史地理、文苑、隨筆等三十錢　東京赤坂溜池町一　黑龍會出版部

▲現代之化學　六の六　古代に於ける數學の發展（カヂヨリ）精神療法に就て（吳博士）最近の研究になる天文、地文、生物。理科、應用化學等（二十八錢）　東京澁谷町下澁谷共社

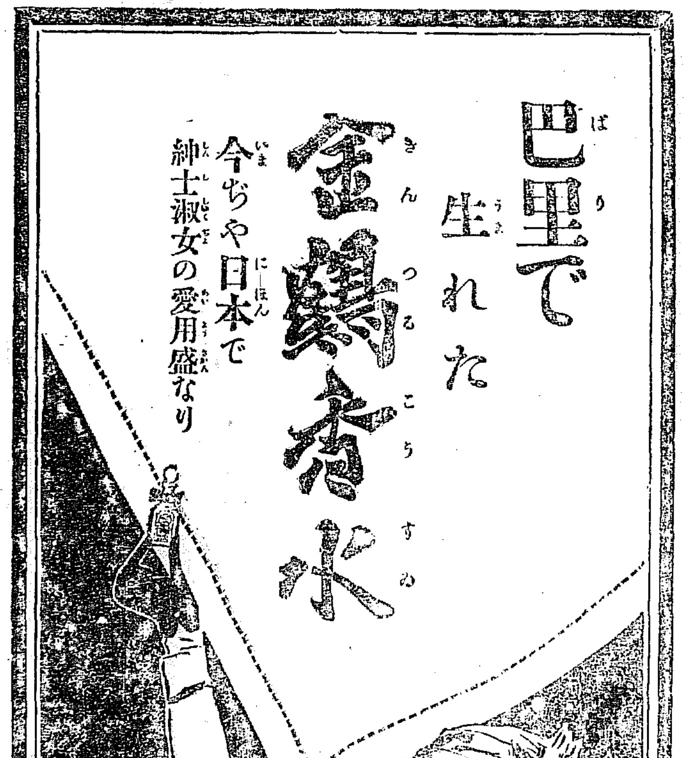
▲土木建築工學（五の六）二十五錢　東京日本橋本石町一の一　工學社

▲刀劍と歷史（九三）二十錢　東京澁谷町下澁谷

▲戰友　九六、七錢、東京麹町區飯田町二の五二　帝國在郷軍人會本部

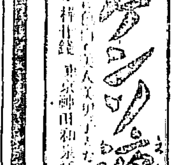
▲寫眞タイムス（一一八）最近時事の珍らしき鮮明なる寫眞數十枚を集む二十五錢　東京京橋新肴町一　入明治寫眞版所發行

品質本位
人參エキス　チンキ
其他諸製劑
京城南大門通二丁目
朝鮮化學製藥株式會社
電話一三一六番




七日ソケタ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
小壜二十錢　徳用一円
今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケ、アレを防ぎ木メ、コマカ…美人となる…小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品…東京神田和泉橋際松本薬店

京　龍山其各地に偽物有御注意
大阪　三休橋
百圓進呈
りん病　はいい毒
大阪有田ドラッグ商會
東京日本橋通四　大阪心齋橋筋本町　有田ドラッグ商會
帝國醫科大學病院
等にて當局配劑せる高價藥あるを保證す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は
分析料百圓進呈
◉あらゆる治療をあすも効あき患者宛に御來談あれ
にせ物　東京大阪各地ににせドラッグあり
大阪有田　顏を覺取おあれ
京城南大門外停車場通
ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目　全支店
龍山陸兵場前停留所　全支店
釜山大廳町二丁目　全支店
元山本町三丁目　全支店
平壤櫻町十二番地　全支店
仁川宮町二丁目　全支店
朝鮮のにせ物
京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり購着せられざる様御注意を乞ふ
請賣薬房他の薬店販賣不許
全國到る所の都市朝鮮滿洲南滿台灣等に支店あり
詳細は本月六日の本紙を御覧
松富ドラッグ有田


東京　万平灸
京城黄金町三ノ三四一

▲流行燈袴▼
▲特價金拾圓也▼
▲送料鮮内十二錢外二十錢
◉純毛にして新流行縞物四種
◉世間ありふれたる内地製品にあらず
京城太平通り一丁目
京城日報社代理部
電話長六〇〇九番・振替貯金口座三〇〇番

日本郵船仁川出帆
○大連行、天津行
相模丸　六月
三河丸　七月九日
高砂丸　六月廿九日　正午出
仁川海岸町一丁目十番　堀回漕部

開自動車著發時刻
金泉・乃城
一番　二番　三番
細居自動車部金泉支部
▲小荷物運搬仕候

尼崎汽船仁川出帆
下關、大阪直行
第一太湖丸　六月　日後四時出
大有丸　六月　日後四時出
群山、下關、神阪行
君が代丸　六月廿五日後四時出
仁川海岸通三丁目五十九番　髙杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行
共同丸　六月廿三日後入港　六月廿四日前出港
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　月　日後五時出
立神丸　月　日後五時出
○元山、浦潮、浦鹽行
和歌浦丸　月　日後十時出
立神丸　月　日後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（廿四）午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　四月　日後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　四月　日後六時出
本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部